

赤平市

市民アンケート

令和4年度調査 調査報告書

企画課

2022年10月1日

目次

調査の概要	3
調査票の回収結果.....	3
調査票の配布数と回収率.....	3
集計結果の表し方.....	3
1. 回答者の属性	4
(1) 回答者の性別.....	4
(2) 回答者の年齢.....	4
(3) 回答者の職業.....	5
(4) 回答者の居住地区.....	6
(5) 回答者の居住年数.....	7
(6) 回答者の世帯構成.....	7
(7) 回答者の SNS 利用状況	8
男女別・年齢別の集計	8
居住地区別の集計.....	8
2. 赤平市への愛着度・定住意向.....	9
(1) 赤平市への愛着度.....	9
男女別・年齢別の集計	9
居住地区別の集計.....	10
居住年数別の集計.....	10
(2) 赤平市での定住意向.....	10
男女別・年齢別の集計	11
居住地区別の集計.....	11
居住年数別の集計.....	12
(3) 赤平市に住み続けたい理由.....	12
その他の内容（多寡問わず掲載）	13
男女別・年齢別の集計	13
居住地区別の集計.....	14
居住年数別の集計.....	14
(4) 赤平市から移転したいと思う理由.....	15
その他の内容（多寡問わず掲載）	16
男女別・年齢別の集計	16
居住地区別の集計.....	17
居住年数別の集計.....	17
3. 赤平市の取組について.....	18
(1) 現状の満足度.....	18

基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち	18
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち	18
基本目標 3 活力に満ちた魅力あふれるまち	19
基本目標 4 とともに学び合い豊かな心を育むまち	19
基本目標 5 ふれあいと交流で創る協働のまち	19
満足度が高い施策項目	20
満足度が低い（不満度の高い）施策項目	21
(2) 今後の重要度	22
基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち	22
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち	22
基本目標 3 活力に満ちた魅力あふれるまち	23
基本目標 4 とともに学び合い豊かな心を育むまち	23
基本目標 5 ふれあいと交流で創る協働のまち	23
重要度が高い施策項目	24
重要度が低い施策項目	25
(3) 評価点による評価	26
評価点の計算方法について	26
満足度の評価点	27
満足度評価／全体	28
重要度の評価点	29
重要度評価／全体	30
(4) 今後力を入れるべき項目	31
全体の満足度偏差値と重要度偏差値	31
4. 市公式ホームページについて	34
(1) 市公式ホームページの閲覧	34
① 閲覧頻度	34
② 閲覧理由	35
③ 見ない理由	36
(2) 市公式 SNS	37
① 市公式 SNS の利用状況	37
② 市公式 SNS を利用する理由	38
③ 市の公式 SNS を利用しない理由	39
(3) 広報あかびらについて	40
① 「広報あかびら」を読む頻度	40
② 「広報あかびら」で重点的に取り上げてほしい内容	41
③ 「広報あかびら」を読まない理由	43

調査の概要

本調査は、市全般にわたる住民の意向を把握し、検証をした上で、各施策に結び付けるために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	令和4年6月1日現在 赤平市に在住する18歳以上の男女1,500人
抽出方法	無作為抽出調査
調査期間	令和4年6月上旬～6月下旬
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

調査票の回収結果

調査票の配布数と回収率

配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)	有効回収数 (票)	有効回収率 (%)
1,500	485	32.3	485	32.3

集計結果の表し方

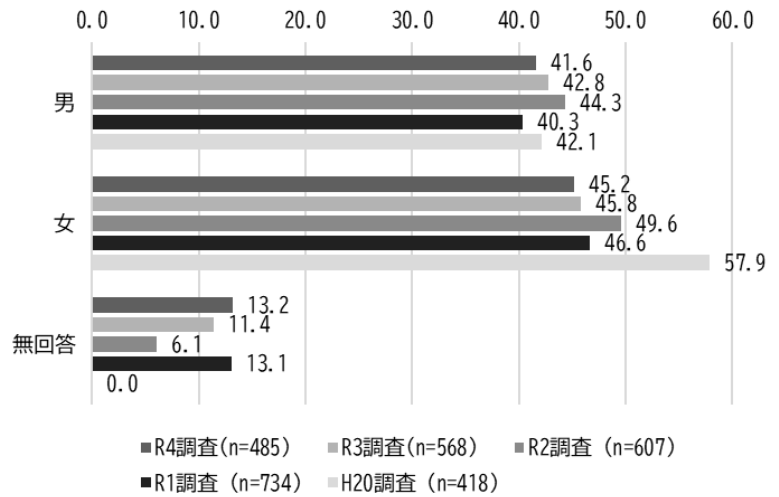
- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記していますのですべての比率の合計が100%とならないことがあります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（n）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- 過去に実施したアンケート調査との比較では、以下の表記を用いています。
 - ◇ 「R1調査」：第6次赤平市総合計画を策定する際に実施したまちづくりアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）
 - ◇ 「R2調査」：前々回実施したアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）
 - ◇ 「R3調査」： 前回実施したアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）
 - ◇ 「R4調査」： 今回実施したアンケート調査結果（18歳以上の市民を対象として実施）

1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別

性別は、「男性」が41.6%、「女性」が45.2%となっています。

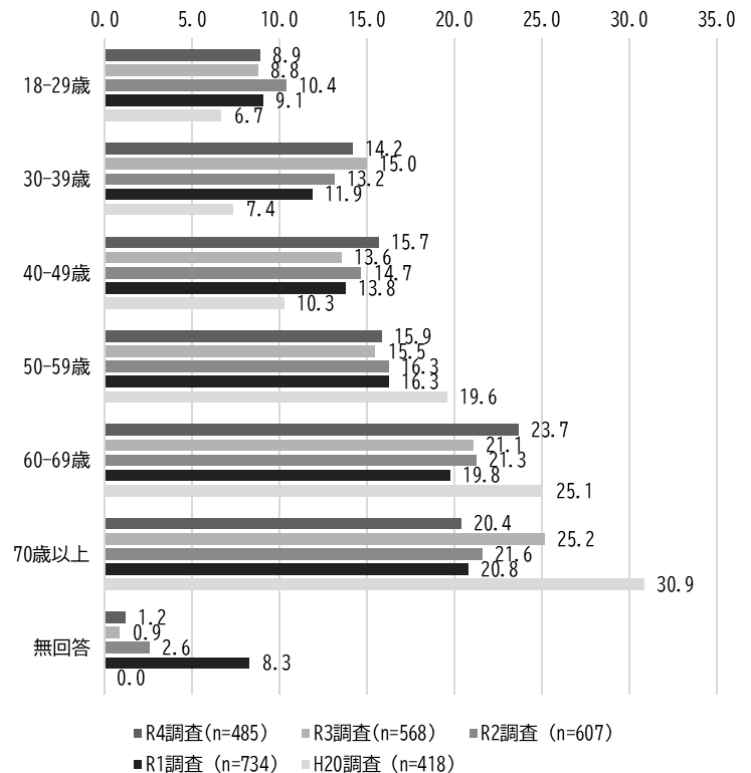
(単位：%)



(2) 回答者の年齢

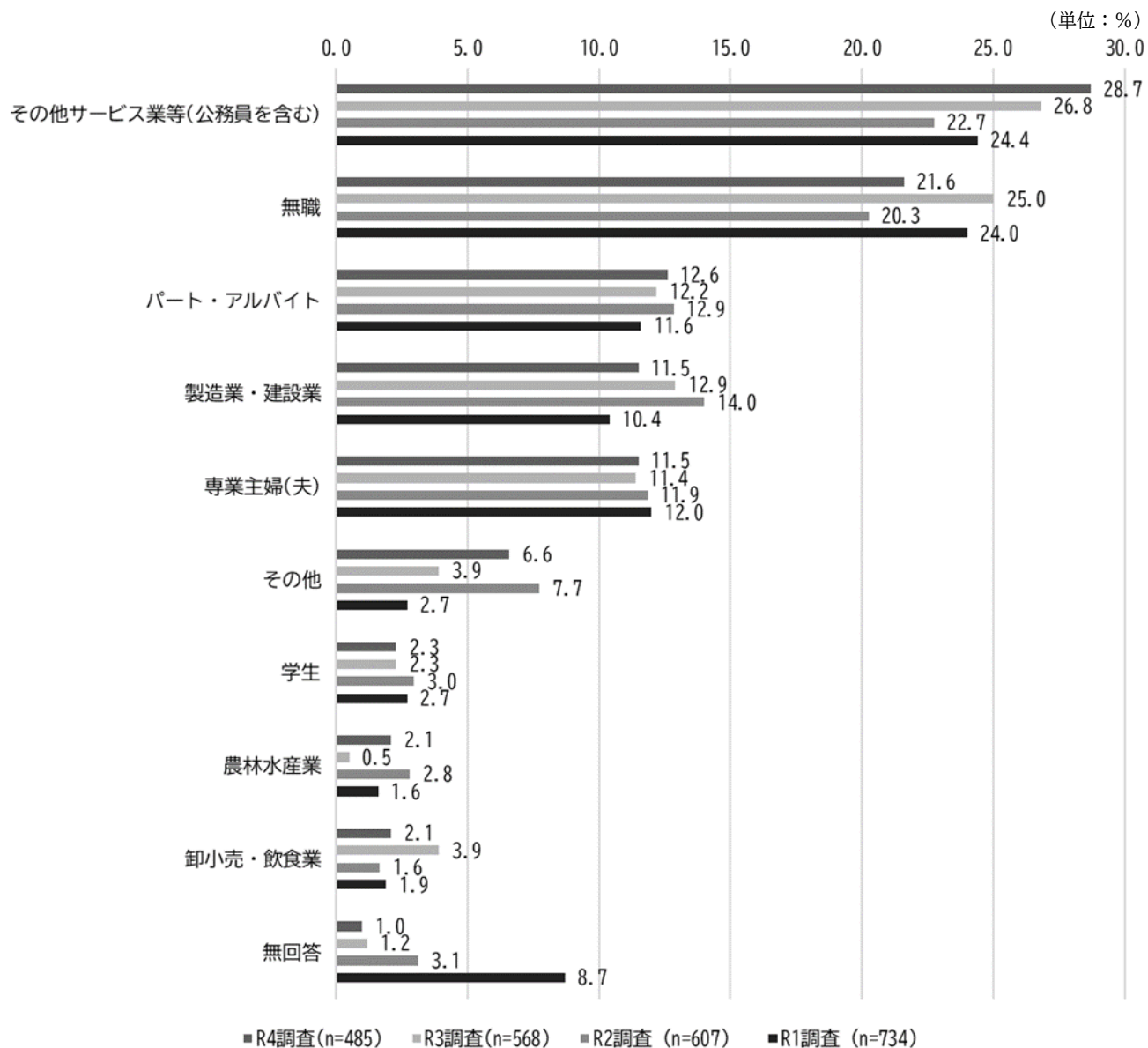
年齢は、「60～69歳」が23.7%で最も多く、次いで「70歳以上」(20.4%)、「50～59歳」(15.9%)となっています。前回調査と比べて「30～39歳」と「70歳以上」の回答者割合が減少し、それ以外はすべて増加しています。

(単位：%)



(3)回答者の職業

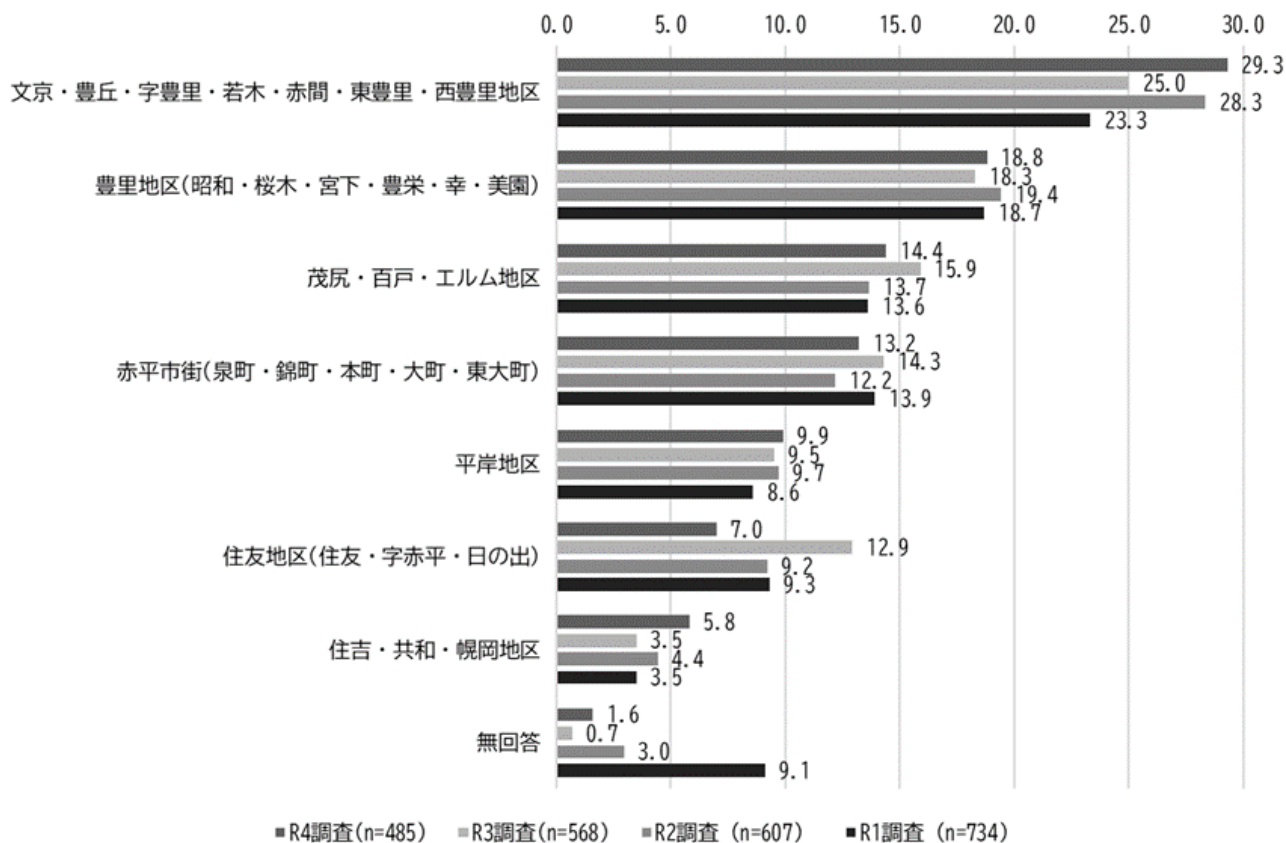
職業は、「その他サービス業等（公務員を含む）」が28.7%で最も多く、次いで「無職」（21.6%）、「パート・アルバイト」（12.6%）となっています。前回調査と比べ、「その他サービス業等（公務員を含む）」が1.9%増、「無職」が3.4%、「製造業・建設業」が1.4%減となりました。



(4)回答者の居住地区

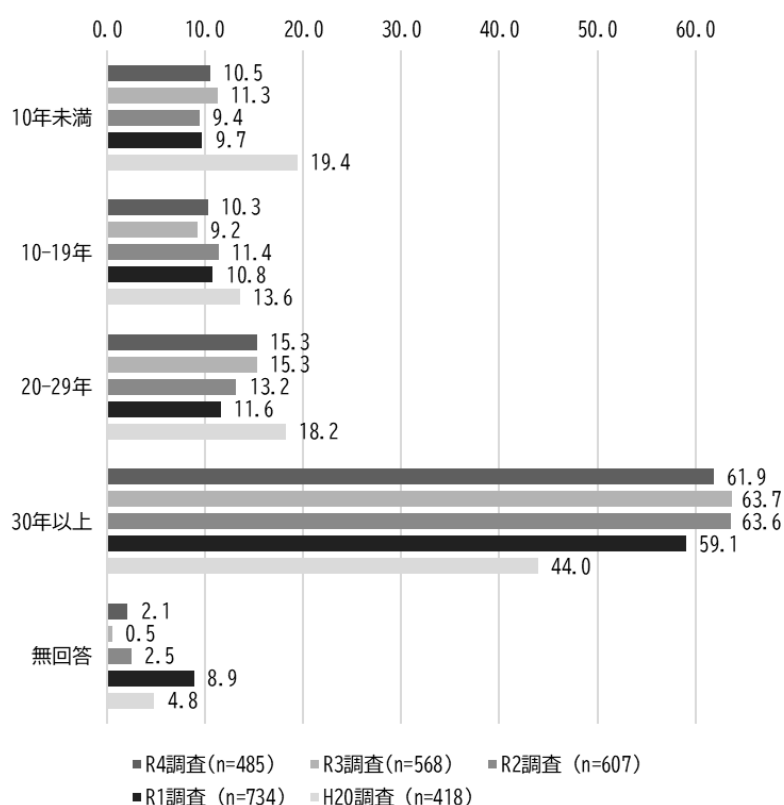
居住地区は「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」が29.3%で最も多く、次いで「豊里地区（昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園）」（18.8%）、「茂尻・百戸・エルム地区」（14.4%）となっています。前回調査と比べ、「文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区」が4.3%増加し、「住友地区（住友・日の出）」が5.9%減少しました。

(単位：%)



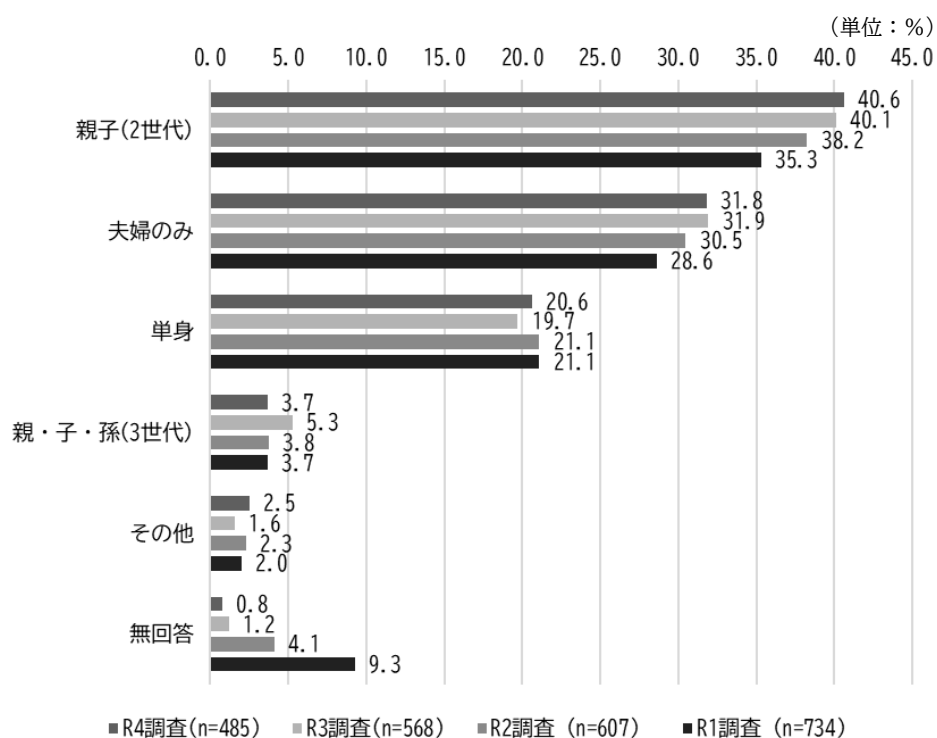
(5) 回答者の居住年数

居住年数は、「30年以上」が61.9%で最も多く、次いで「20～29年」(15.3%)、「10～19年」(10.3%)となっています。



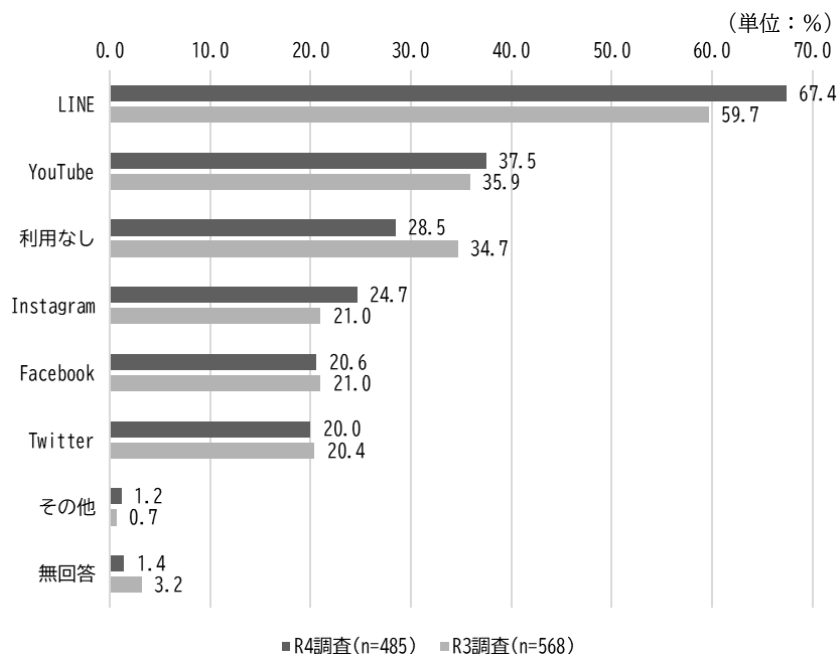
(6) 回答者の世帯構成

世帯構成は、「親子(2世代)」が40.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ」(31.8%)、「単身」(20.6%)となっています。



(7)回答者の SNS 利用状況

SNSの利用状況は、「LINE」が67.4%と最も多く、次いで「YouTube」(37.5%)、「利用していない」(28.5%)となっています。「利用していない」と「無回答」の割合から逆算し、少なくとも1つ以上SNSを利用している方の割合は70.1%となっています。



男女別・年齢別の集計

「70歳以上」の方のみSNSを「利用していない」(72.7%)が最も多く、それ以外では、男女別・年齢別ともに「LINE」の利用が最も多い状況で、「18~29歳」では97.7%となりました。

SNS利用状況	n(単位:人)	LINE	Facebook	Twitter	YouTube	Instagram	利用なし	その他	無回答	
全体	485	67.4	20.6	20.0	37.5	24.7	28.5	1.2	1.4	
性別	男	202	70.3	24.3	24.8	39.6	24.3	26.2	1.0	1.0
	女	219	72.1	21.0	19.2	40.2	30.6	24.7	1.4	0.5
年齢	18-29歳	43	97.7	34.9	74.4	76.7	79.1	0.0	2.3	2.3
	30-39歳	69	94.2	44.9	43.5	73.9	53.6	4.3	1.4	0.0
	40-49歳	76	95.7	31.9	26.1	63.8	42.0	11.6	0.0	0.0
	50-59歳	77	71.1	21.1	10.5	35.5	14.5	26.3	0.0	1.3
	60-69歳	115	64.3	11.3	5.2	20.0	6.1	30.4	0.0	0.9
	70歳以上	99	23.2	2.0	0.0	2.0	1.0	72.7	3.0	2.0

居住地区別の集計

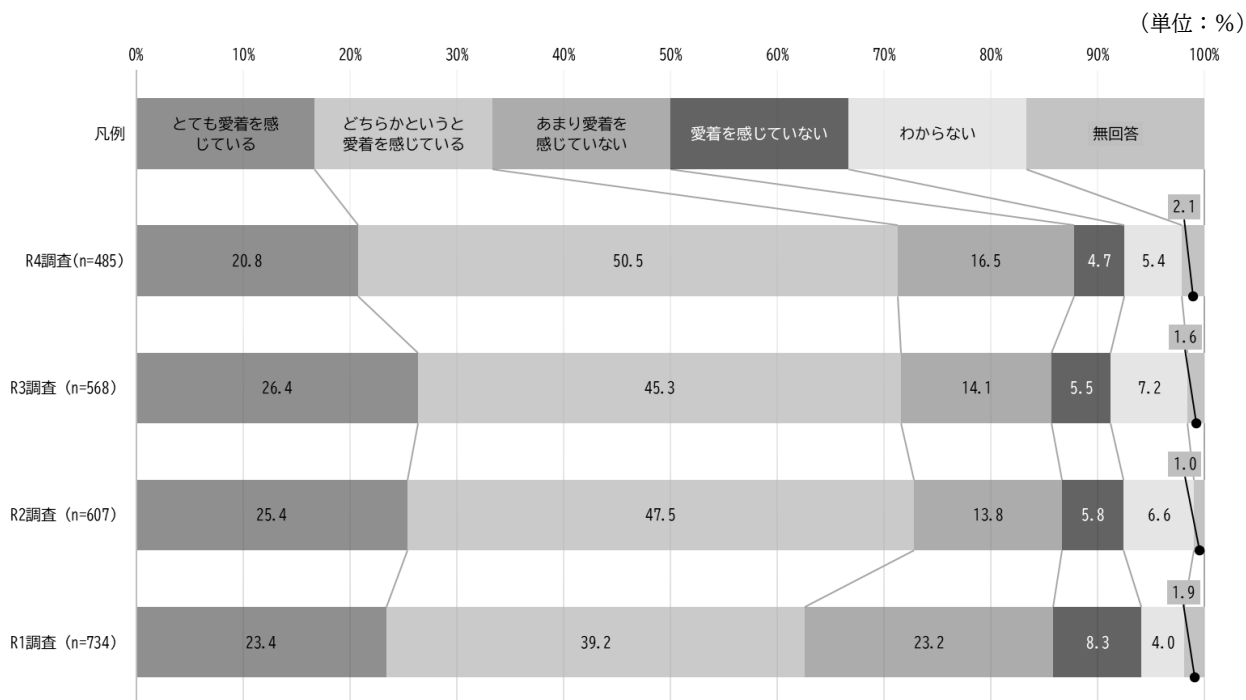
居住地区別でみると、すべての地区で「LINE」の利用が最も多くなっています。

SNS利用状況	n(単位:人)	LINE	Facebook	Twitter	YouTube	Instagram	利用なし	その他	無回答	
全体	485	67.4	20.6	20.0	37.5	24.7	28.5	1.2	1.4	
地区別	平岸地区	48	50.0	14.6	4.2	25.0	12.5	43.8	2.1	0.0
	茂尻・百戸・エルム地区	70	68.6	12.9	17.1	35.7	20.0	30.0	0.0	0.0
	住友地区(住友・宇赤平・日の出)	34	55.9	11.8	17.6	32.4	14.7	38.2	0.0	2.9
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	64	81.3	31.3	37.5	43.8	43.8	18.8	1.6	0.0
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	91	65.9	27.5	25.3	39.6	30.8	30.8	0.0	2.2
	文京・豊丘・宇豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	72.5	20.4	19.0	42.3	23.2	21.8	2.8	0.7
	住吉・共和・幌岡地区	28	60.7	10.7	7.1	21.4	14.3	39.3	0.0	0.0

2. 赤平市への愛着度・定住意向

(1) 赤平市への愛着度

赤平市への愛着度は、「とても愛着がある」(20.8%)、「どちらかというとな愛着がある」(50.5%)の合計は71.3%でした。令和2年度調査から2年連続での減少となりました。



男女別・年齢別の集計

男女別・年齢別でみると、すべての項目で「どちらかといえば愛着がある」が最も多くなり、おおむね年齢が高くなるにつれて「とても愛着がある」の割合が高くなる傾向となりました。また、「70歳以上」の愛着があると答えた割合が79.8%と最も高い結果となりました。

(単位: %)

愛着		n(単位:人)	とても愛着を感じている	どちらかというとな愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない	無回答
全体		485	20.8	50.5	16.5	4.7	5.4	2.1
性別	男	202	22.3	51.0	16.8	5.9	2.5	1.5
	女	219	19.6	52.1	16.0	3.7	7.3	1.4
年齢	18-29歳	43	14.0	58.1	9.3	11.6	4.7	2.3
	30-39歳	69	14.5	49.3	21.7	5.8	8.7	0.0
	40-49歳	76	21.1	56.6	13.2	2.6	5.3	1.3
	50-59歳	77	19.5	48.1	20.8	3.9	5.2	2.6
	60-69歳	115	20.9	48.7	19.1	3.5	5.2	2.6
	70歳以上	99	30.3	49.5	11.1	4.0	4.0	1.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

居住地区別にみると、すべての地区で愛着度は比較的高くなり、「平岸地区」(66.7%) 以外は 70% を超える結果となりました。

愛着		n(単位:人)	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない	無回答
全体		485	20.8	50.5	16.5	4.7	5.4	2.1
地区別	平岸地区	48	22.9	43.8	18.8	6.3	8.3	0.0
	茂尻・百戸・エルム地区	70	25.7	44.3	21.4	4.3	1.4	2.9
	住友地区(住友・字赤平・日の出)	34	17.6	55.9	14.7	0.0	11.8	0.0
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	64	17.2	56.3	17.2	4.7	4.7	0.0
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	91	18.7	54.9	14.3	5.5	4.4	2.2
	文京・豊丘・字豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	21.8	51.4	15.5	4.2	5.6	1.4
	住吉・共和・幌岡地区	28	17.9	53.6	14.3	0.0	7.1	7.1

(単位:%)

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

居住年数別でみると、「30年以上」赤平市に住む方の愛着度が76.7%と最も高く、次いで「10～19年」が70.0%となりました。

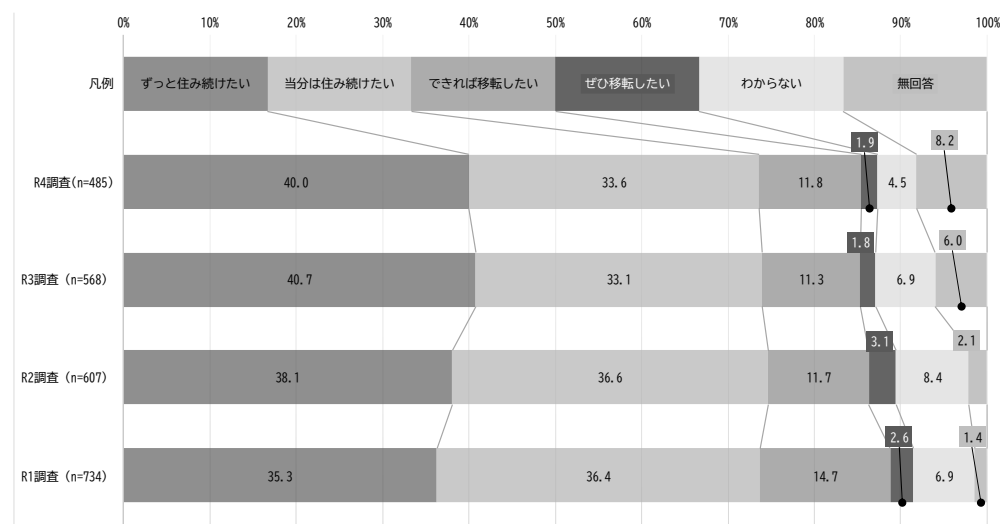
愛着		n(単位:人)	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない	無回答
全体		485	20.8	50.5	16.5	4.7	5.4	2.1
居住年数別	10年未満	51	5.9	51.0	21.6	11.8	7.8	2.0
	10-19年	50	20.0	50.0	20.0	4.0	4.0	2.0
	20-29年	74	9.5	52.7	23.0	9.5	5.4	0.0
	30年以上	300	25.7	51.0	13.7	2.3	5.3	2.0

(単位:%)

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 赤平市での定住意向

赤平市での定住意向は、「ずっと住み続けたい」(40.0%)と「当分は住み続けたい」(33.6%)の合計が73.6%で、「できれば移転したい」(11.8%)と「ぜひ移転したい」(1.9%)の合計13.7%を大きく上回りましたが、定住意向は前回調査時より0.2%の減、移住意向は0.6%増となりました。



男女別・年齢別の集計

- 男女別でみると、男女間で定住意向に大きな差異はみられませんでした。
- 年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて定住意向が強くなり、50歳未満は「当分は住み続けたい」が、50歳以上は「ずっと住み続けたい」が多い結果となりました。「60～69歳」の定住意向が最も高く、8割の方が住み続けたいと回答しました。

(単位:%)

定住意向		n(単位:人)	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	できれば 移転したい	ぜひ 移転したい	わからない	無回答
全体		485	40.0	33.6	11.8	1.9	4.5	8.2
性別	男	202	39.1	36.6	9.9	3.0	5.0	6.4
	女	219	39.3	34.7	11.9	1.4	4.6	8.2
年齢	18-29歳	43	25.6	37.2	14.0	9.3	4.7	9.3
	30-39歳	69	27.5	39.1	13.0	4.3	7.2	8.7
	40-49歳	76	25.0	51.3	14.5	0.0	3.9	5.3
	50-59歳	77	40.3	32.5	6.5	0.0	10.4	10.4
	60-69歳	115	47.8	32.2	11.3	0.9	0.9	7.0
	70歳以上	99	58.6	19.2	11.1	0.0	3.0	8.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

- 「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計が最も多かったのは、「住友地区(住友・字赤平・日の出)」で82.4%となりました。
- 「できれば移転したい」と「ぜひ移転したい」の合計が最も多くなったのは、「赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)」で17.2%となりました。

(単位:%)

定住意向		n(単位:人)	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	できれば 移転したい	ぜひ 移転したい	わからない	無回答
全体		485	40.0	33.6	11.8	1.9	4.5	8.2
地区別	平岸地区	48	47.9	27.1	10.4	2.1	0.0	12.5
	茂尻・百戸・エルム地区	70	41.4	32.9	11.4	0.0	4.3	10.0
	住友地区(住友・字赤平・日の出)	34	47.1	35.3	5.9	0.0	2.9	8.8
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	64	34.4	40.6	10.9	6.3	3.1	4.7
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	91	41.8	29.7	13.2	1.1	5.5	8.8
	文京・豊丘・字豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	142	35.9	38.7	14.1	0.7	4.2	6.3
	住吉・共和・幌岡地区	28	46.4	25.0	7.1	0.0	14.3	7.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

- 居住年数別でみると、定住意向は「30年以上」が79.6%で最も高く、「10～19年」が次いで66.0%、「20～29年」64.9%、「10年未満」が60.8%となり、19%ほど開きがある結果となりました。
- 移住意向が強かったのは「10年未満」の29.4%で、次いで「20～29年」が19.0%となりました。

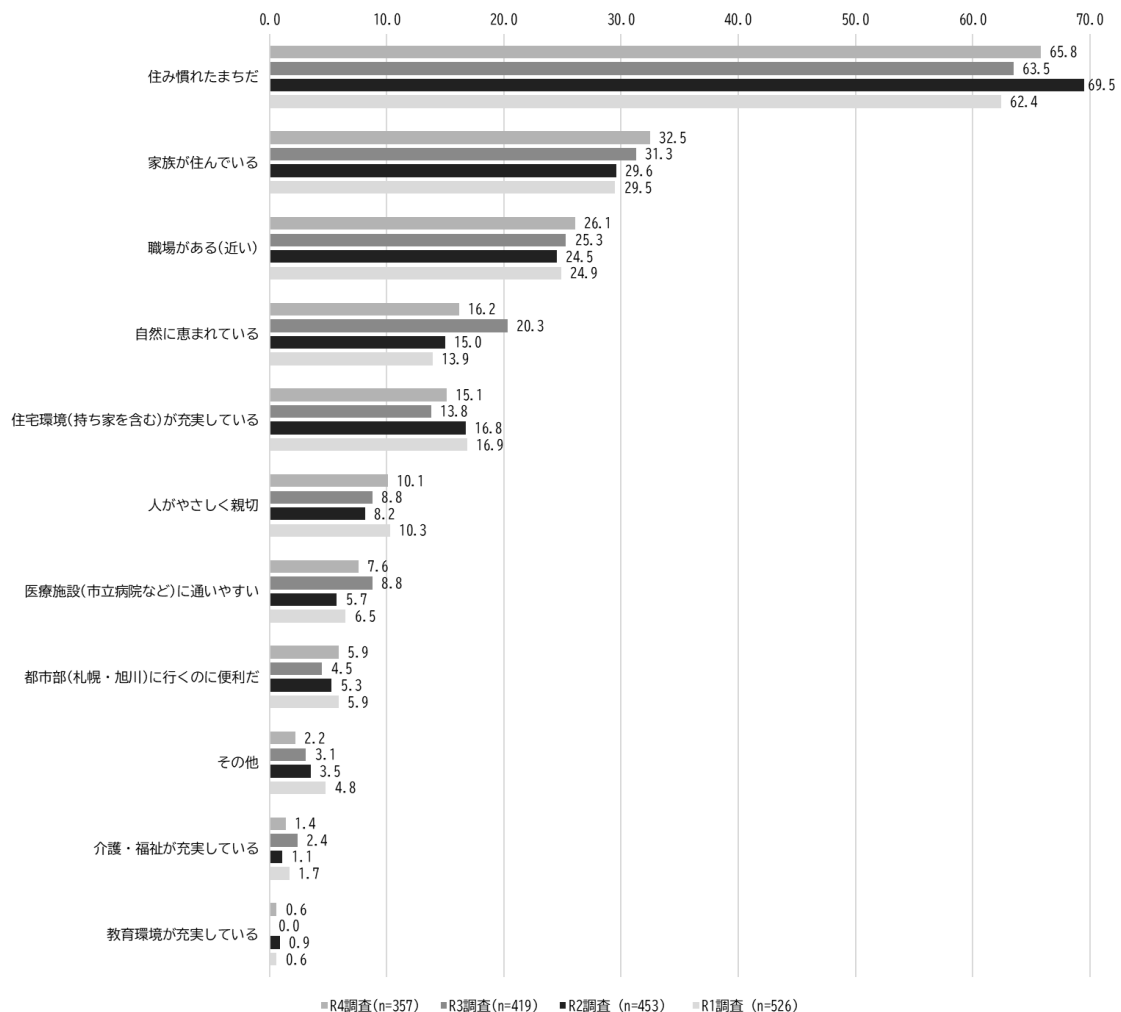
(単位:%)

定住意向	n(単位:人)	ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	できれば 移転したい	ぜひ 移転したい	わからない	無回答
全体	485	40.0	33.6	11.8	1.9	4.5	8.2
居住 年数別	10年未満	51	25.5	35.3	23.5	5.9	7.8
	10-19年	50	18.0	48.0	12.0	4.0	10.0
	20-29年	74	31.1	33.8	17.6	1.4	6.8
	30年以上	300	48.3	31.3	8.7	0.7	8.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 赤平市に住み続けたい理由

定住意向がある方の赤平市に住み続けたい主な理由は、「住み慣れている」が65.8%で突出して多く、次いで「家族が住んでいる」(32.5%)、「職場がある(近い)」(26.1%)となっています。



その他の内容（多寡問わず掲載）

- 実家があったから。
- 親の残した持ち家があるから。
- 生まれた時から住んでいるので愛着があるから。
- 生まれ育った所だから。
- 青春時代に過ごしたまちだから。
- 子育てがしやすいから。
- 持ち家があるから。
- 子どもたちを転校させたくないから。
- 他に移転したい先がないから。

男女別・年齢別の集計

- 男女別で見ると、ともに「住み慣れている」が最も多く、どちらも約 65%前後となっています。
- 年齢別で見ると、「30～39 歳」以外のすべての年齢で「住み慣れている」が最も多くなっていますが、年齢が低くなるにつれてその割合は減少傾向にあります。
- 「30～39 歳」は、「職場がある（近い）」が 45.7%と高い結果になりました。

(単位:%)

住み続けたい理由		n(単位:人)	自然に 恵まれている	人がやさしく 親切	住み慣れたまちだ	家族が住んでいる	職場がある(近い)	住宅環境(持ち 家を含む)が充 実
全体		357	16.2	10.1	65.8	32.5	26.1	15.1
性別	男	153	19.0	10.5	64.1	28.1	29.4	12.4
	女	162	13.0	9.3	67.3	37.7	26.5	16.7
年齢	18-29歳	27	29.6	14.8	55.6	51.9	33.3	3.7
	30-39歳	46	6.5	15.2	39.1	41.3	45.7	10.9
	40-49歳	58	15.5	6.9	63.8	37.9	43.1	6.9
	50-59歳	56	10.7	3.6	69.6	33.9	42.9	7.1
	60-69歳	92	19.6	10.9	68.5	20.7	15.2	22.8
	70歳以上	77	18.2	11.7	80.5	29.9	0.0	24.7

(単位:%)

住み続けたい理由		n(単位:人)	教育環境が充実	介護・福祉が充 実	医療施設 (市立病院など) に通いやすい	都市部(札幌・旭川) に行くのに便利だ	その他
全体		357	0.6	1.4	7.6	5.9	2.2
性別	男	153	0.0	0.0	6.5	5.9	3.3
	女	162	1.2	1.2	7.4	7.4	1.9
年齢	18-29歳	27	3.7	0.0	0.0	7.4	3.7
	30-39歳	46	2.2	0.0	2.2	17.4	4.3
	40-49歳	58	0.0	0.0	1.7	5.2	3.4
	50-59歳	56	0.0	0.0	3.6	5.4	1.8
	60-69歳	92	0.0	2.2	7.6	5.4	2.2
	70歳以上	77	0.0	3.9	20.8	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

居住地区別でみると、すべての地区で「住み慣れている」が最も多くなっていますが、「平岸地区」が86.1%と他の地区よりも一段と多くなっています。

(単位:%)

住み続けたい理由		n(単位:人)	自然に 恵まれている	人がやさしく 親切	住み慣れたまちだ	家族が住んでいる	職場がある(近い)	住宅環境 (持ち家を含む) が充実
全体		357	16.2	10.1	65.8	32.5	26.1	15.1
地区別	平岸地区	36	8.3	11.1	86.1	36.1	11.1	19.4
	茂尻・百戸・エルム地区	52	15.4	11.5	71.2	28.8	19.2	11.5
	住友地区(住友・字赤平・日の出)	28	14.3	3.6	78.6	35.7	21.4	10.7
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	48	10.4	10.4	56.3	45.8	33.3	10.4
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	65	24.6	12.3	67.7	23.1	27.7	15.4
	文京・豊丘・字豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	106	14.2	8.5	59.4	34.0	32.1	15.1
	住吉・共和・幌岡地区	20	30.0	10.0	55.0	20.0	25.0	35.0

(単位:%)

住み続けたい理由		n(単位:人)	教育環境が充実	介護・福祉が充 実	医療施設 (市立病院など) に通いやすい	都市部(札幌・旭川) に行くのに便利だ	その他
全体		357	0.6	1.4	7.6	5.9	2.2
地区別	平岸地区	36	0.0	2.8	5.6	0.0	0.0
	茂尻・百戸・エルム地区	52	0.0	1.9	1.9	7.7	5.8
	住友地区(住友・字赤平・日の出)	28	0.0	0.0	21.4	3.6	0.0
	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	48	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	65	0.0	0.0	9.2	7.7	0.0
	文京・豊丘・字豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	106	1.9	1.9	5.7	3.8	4.7
	住吉・共和・幌岡地区	20	0.0	5.0	5.0	15.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

居住年数別でみると、「10年未満」は「職場がある(近い)」が38.7%で、「10~19年」は「家族が住んでいる」が最も多く、居住年数が20年以上は「住み慣れたまちだ」が最も多い理由となっています。

(単位:%)

住み続けたい理由		n(単位:人)	自然に 恵まれている	人がやさしく 親切	住み慣れたまちだ	家族が住んでいる	職場がある(近い)	住宅環境 (持ち家を含む) が充実
全体		357	16.2	10.1	65.8	32.5	26.1	15.1
居住 年数別	10年未満	31	22.6	25.8	19.4	19.4	38.7	19.4
	10-19年	33	18.2	9.1	30.3	51.5	39.4	15.2
	20-29年	48	14.6	12.5	64.6	33.3	37.5	6.3
	30年以上	239	15.9	7.9	77.0	30.5	20.1	16.7

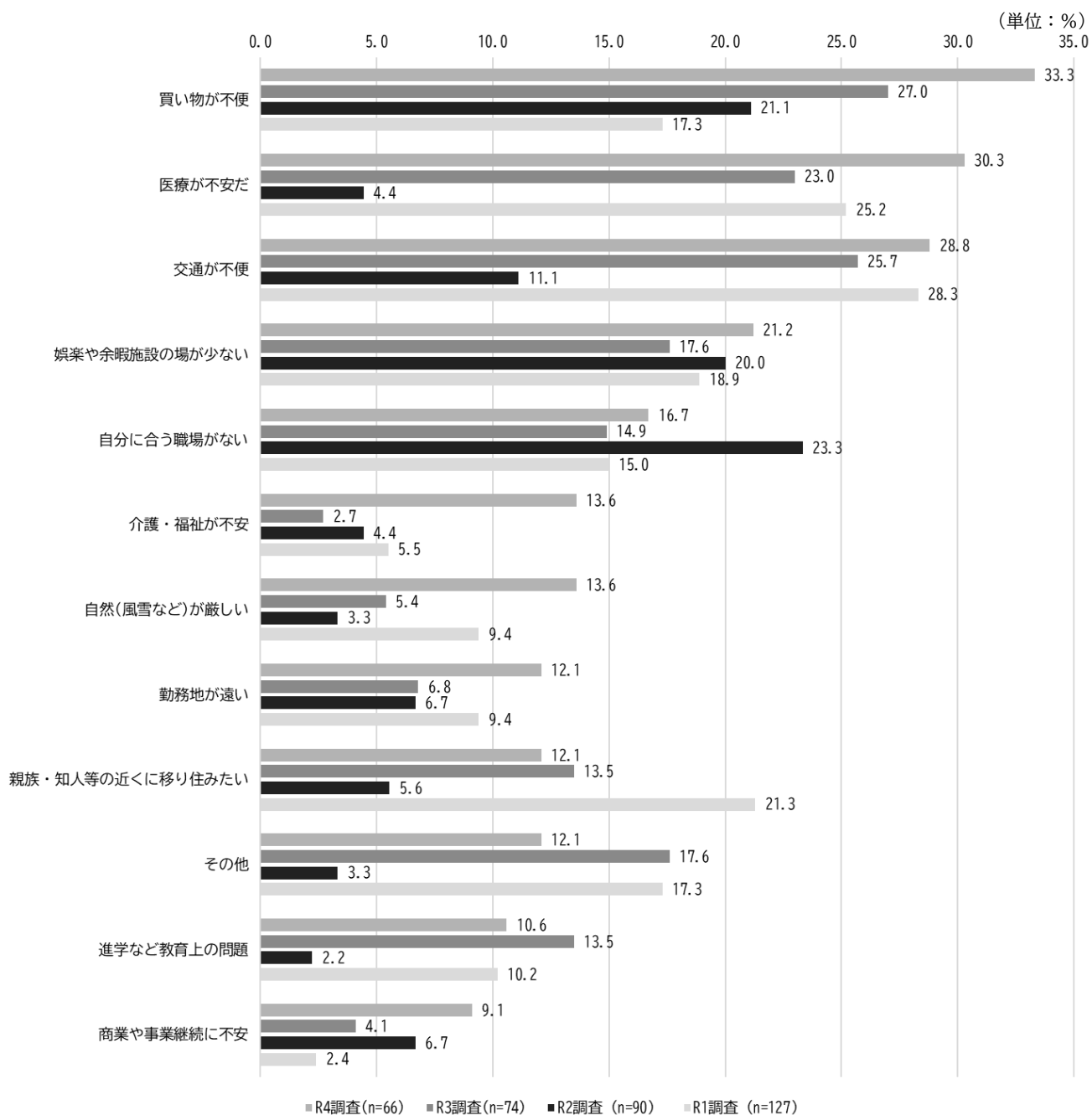
(単位:%)

住み続けたい理由		n(単位:人)	教育環境が充実	介護・福祉が充 実	医療施設 (市立病院など) に通いやすい	都市部(札幌・旭川) に行くのに便利だ	その他
全体		357	0.6	1.4	7.6	5.9	2.2
居住 年数別	10年未満	31	2.0	0.0	3.9	7.8	2.0
	10-19年	33	2.0	2.0	2.0	6.0	4.0
	20-29年	48	0.0	0.0	5.4	2.7	4.1
	30年以上	239	0.0	1.3	6.7	4.0	0.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 赤平市から移転したいと思う理由

移転意向がある方の赤平市から移転したい主な理由は、「買い物が不便」が33.3%で最も多く、次いで「医療が不安だ」(30.3%)、「交通が不便」(28.8%)の順に多くなっています。



その他の内容（多寡問わず掲載）

- とりにある空屋の落雪や屋根板が騒音を出しているから。
- ここに住んでいて趣味や人との関わりなど生きがいを感じる生活が予想できないから。
- すべてをひっくるめて、都会が住みやすいと赤平に来てみてよくわかった。
- とにかく不便で挙げるときりがないから。
- 移住したい土地があるから。
- 治安が悪いから。
- 人口が減少しているから。
- 単身赴任を解消したいから。

男女別・年齢別の集計

- 男女別でみると、男性が「娯楽や余暇施設の場が少ない」が最も高く、女性は「買い物が不便」が高くなっています。

(単位:%)

移転したい理由		n(単位:人)	自分に合う職場がない	商業や事業継続に不安	勤務地が遠い	交通が不便	買い物が不便	進学など教育上の問題
全体		66	16.7	9.1	12.1	28.8	33.3	10.6
性別	男	26	3.8	11.5	11.5	19.2	23.1	7.7
	女	29	20.7	10.3	17.2	34.5	44.8	17.2
年齢	18-29歳	10	30.0	0.0	40.0	40.0	20.0	30.0
	30-39歳	12	25.0	41.7	25.0	16.7	41.7	8.3
	40-49歳	11	18.2	0.0	0.0	9.1	45.5	27.3
	50-59歳	5	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	60-69歳	14	7.1	7.1	0.0	35.7	28.6	0.0
	70歳以上	11	0.0	0.0	0.0	54.5	36.4	0.0

(単位:%)

移転したい理由		n(単位:人)	医療が不安だ	介護・福祉が不安	娯楽や余暇施設の場が少ない	自然(風雪など)が厳しい	親族・知人等の近くに寄り住みたい	その他
全体		66	30.3	13.6	21.2	13.6	12.1	12.1
性別	男	26	30.8	7.7	34.6	23.1	7.7	23.1
	女	29	24.1	10.3	17.2	0.0	13.8	3.4
年齢	18-29歳	10	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30-39歳	12	0.0	8.3	50.0	8.3	16.7	8.3
	40-49歳	11	27.3	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0
	50-59歳	5	40.0	60.0	40.0	60.0	40.0	20.0
	60-69歳	14	64.3	7.1	7.1	21.4	7.1	21.4
	70歳以上	11	54.5	27.3	9.1	18.2	9.1	18.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

移転したいと答えた方を居住地区別でみると、下表のとおりとなります。(複数回答のため合計が100%を超えています。)

移転したい理由	n(単位:人)	自分に合う職場がない	商業や事業継続に不安	勤務地が遠い	交通が不便	買い物が不便	進学など教育上の問題
全体	66	16.7	9.1	12.1	28.8	33.3	10.6
地区別							
平岸地区	6	16.7	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0
茂尻・百戸・エルム地区	8	25.0	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0
住友地区(住友・字赤平・日の出)	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	11	9.1	18.2	36.4	27.3	27.3	9.1
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	13	7.7	7.7	15.4	38.5	15.4	7.7
文京・豊丘・字豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	21	19.0	4.8	4.8	19.0	33.3	19.0
住吉・共和・幌岡地区	2	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0

移転したい理由	n(単位:人)	医療が不安だ	介護・福祉が不安	娯楽や余暇施設の場が少ない	自然(風雪など)が厳しい	親族・知人等の近くに寄り住みたい	その他
全体	66	30.3	13.6	21.2	13.6	12.1	12.1
地区別							
平岸地区	6	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7
茂尻・百戸・エルム地区	8	50.0	12.5	50.0	12.5	12.5	12.5
住友地区(住友・字赤平・日の出)	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	11	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	27.3
豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	13	38.5	23.1	23.1	7.7	15.4	7.7
文京・豊丘・字豊里・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	21	23.8	9.5	14.3	14.3	19.0	9.5
住吉・共和・幌岡地区	2	50.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

居住年数別でみると、「30年以上」と「10～19年」の方が「医療が不安だから」が最も多く、「20～29年」までの方は「娯楽や余暇施設の場が少ない」と感じている方が多くなりました。「10年未満」の方については、「買い物が不便」が最も多い結果となっています。

移転したい理由	n(単位:人)	自分に合う職場がない	商業や事業継続に不安	勤務地が遠い	交通が不便	買い物が不便	進学など教育上の問題
全体	66	16.7	9.1	12.1	28.8	33.3	10.6
居住年数別							
10年未満	15	13.3	6.7	13.3	13.3	46.7	13.3
10-19年	8	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0
20-29年	14	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	7.1
30年以上	28	25.0	7.1	7.1	39.3	42.9	7.1

移転したい理由	n(単位:人)	医療が不安だ	介護・福祉が不安	娯楽や余暇施設の場が少ない	自然(風雪など)が厳しい	親族・知人等の近くに寄り住みたい	その他
全体	66	30.3	13.6	21.2	13.6	12.1	12.1
居住年数別							
10年未満	51	13.3	0.0	33.3	13.3	13.3	13.3
10-19年	50	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0
20-29年	74	14.3	14.3	42.9	7.1	14.3	14.3
30年以上	300	46.4	17.9	7.1	17.9	10.7	14.3

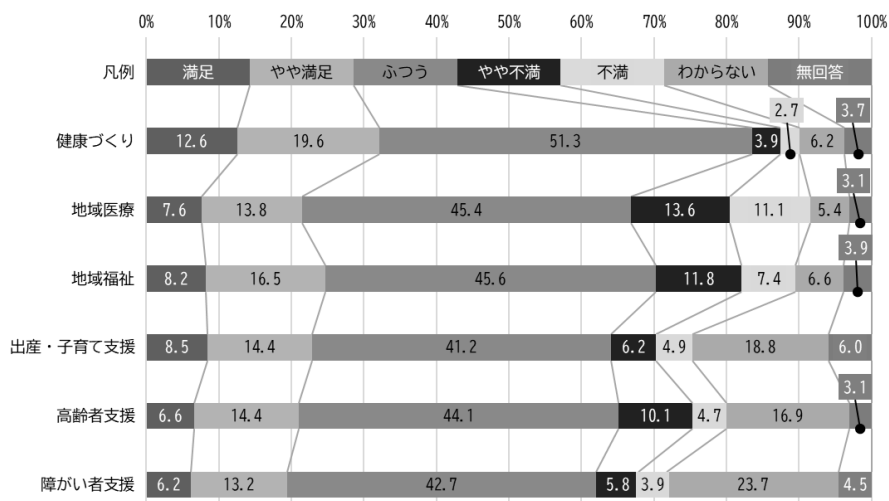
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

3. 赤平市の取組について

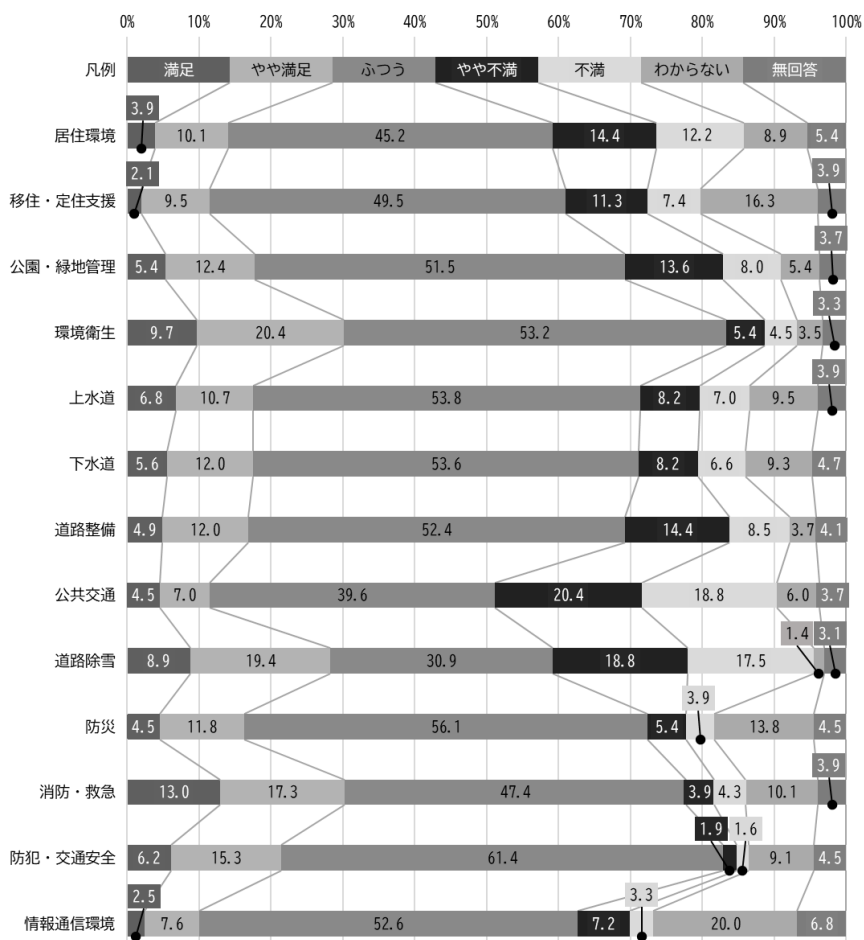
(1) 現状の満足度

赤平市の取組について現状どの程度満足しているのか聞いた結果を 100 分率で示します。

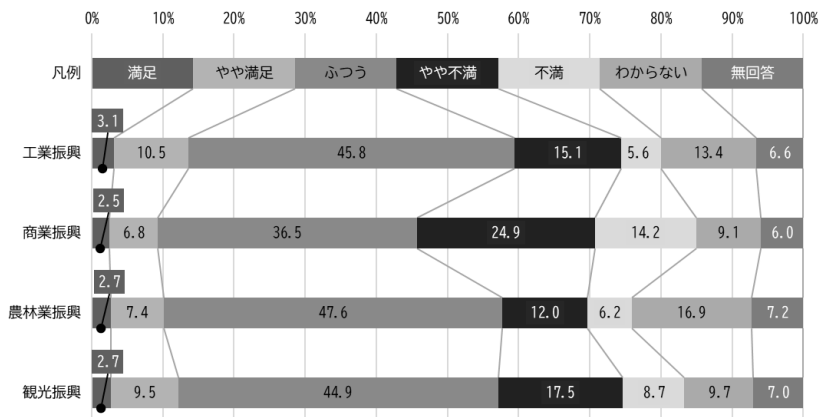
基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち



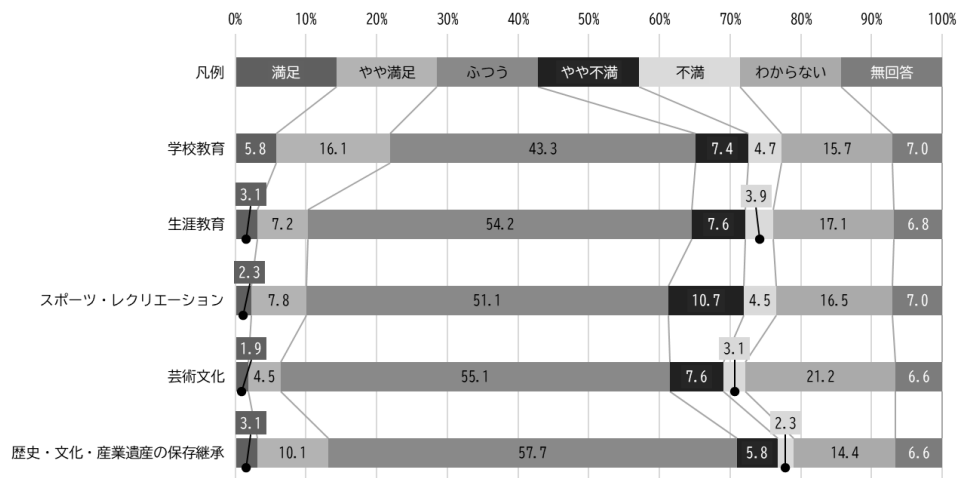
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち



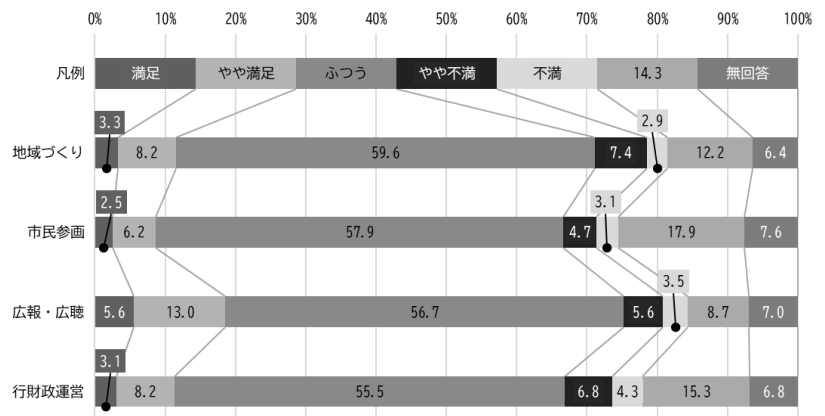
基本目標3 活力に満ちた魅力あふれるまち



基本目標4 とともに学び合い豊かな心を育むまち



基本目標5 ふれあいと交流で創る協働のまち



満足度が高い施策項目

- 各施策について、「満足」・「やや満足」と回答のあった上位10項目は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「健康づくり」の32.2%で、次いで「消防・救急」(30.3%)、「環境衛生」(30.1%)となりました。

(単位:%)

順位	満足度の高い10項目	満足 (A)	やや満足 (B)	満足の合計 (A)+(B)
1	健康づくり	12.6	19.6	32.2
2	消防・救急	13.0	17.3	30.3
3	環境衛生	9.7	20.4	30.1
4	道路除雪	8.9	19.4	28.2
5	地域福祉	8.2	16.5	24.7
6	出産・子育て支援	8.5	14.4	22.9
7	学校教育	5.8	16.1	21.9
8	地域医療	7.6	13.8	21.4
9	防犯・交通安全	6.2	15.3	21.4
10	高齢者支援	6.6	14.4	21.0

過去調査との比較

順位	R1	R2	R3
1	環境衛生	道路除雪	健康づくり
2	消防・救急	消防・救急	消防・救急
3	道路除雪	環境衛生	道路除雪
4	防犯・交通安全	防犯・交通安全	環境衛生
5	上水道	健康づくり	地域福祉
6	健康づくり	地域福祉	防犯・交通安全
7	下水道	広報・広聴	地域医療
8	道路の整備	道路の整備	高齢者支援
9	環境衛生	上水道	出産・子育て支援
10	出産・子育て支援	下水道	道路の整備

満足度が低い（不満度の高い）施策項目

- 各施策について、「やや不満」・「不満」と回答のあった上位10項目（満足度下位10項目）は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「公共交通」の39.2%（不満の割合が商業振興より多い）で、次いで「商業振興」（39.2%）、「道路除雪」（36.3%）となりました。

（単位：%）

順位	不満度の高い10項目	やや不満 (C)	不満 (D)	不満の合計 (C)+(D)
1	公共交通	20.4	18.8	39.2
2	商業振興	24.9	14.2	39.2
3	道路除雪	18.8	17.5	36.3
4	居住環境	14.4	12.2	26.6
5	観光振興	17.5	8.7	26.2
6	地域医療	13.6	11.1	24.7
7	道路整備	14.4	8.5	22.9
8	公園・緑地管理	13.6	8.0	21.6
9	工業振興	15.1	5.6	20.6
10	地域福祉	11.8	7.4	19.2

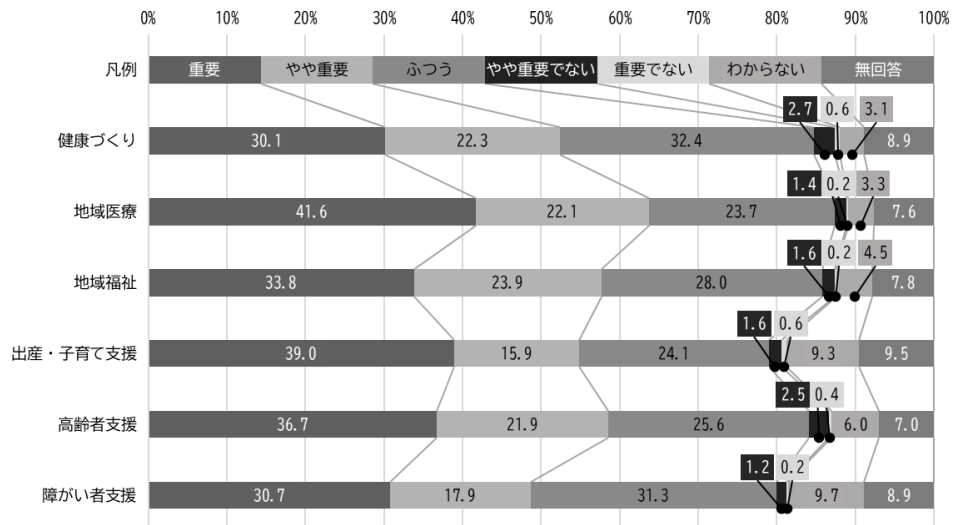
過去調査との比較

順位	R1	R2	R3
1	商業振興	商業振興	商業振興
2	公共交通	地域医療	公共交通
3	地域医療	公共交通	道路除雪
4	観光振興	居住環境	観光振興
5	道路除雪	観光振興	居住環境
6	土地利用	道路の整備	公園・緑地の管理
7	勤労者福祉	道路除雪	地域医療
8	工業振興	工業振興	道路の整備
9	公園・緑地の管理	公園・緑地の管理	工業振興
10	移住・定住支援	スポーツ・レクリエーション	農林業振興

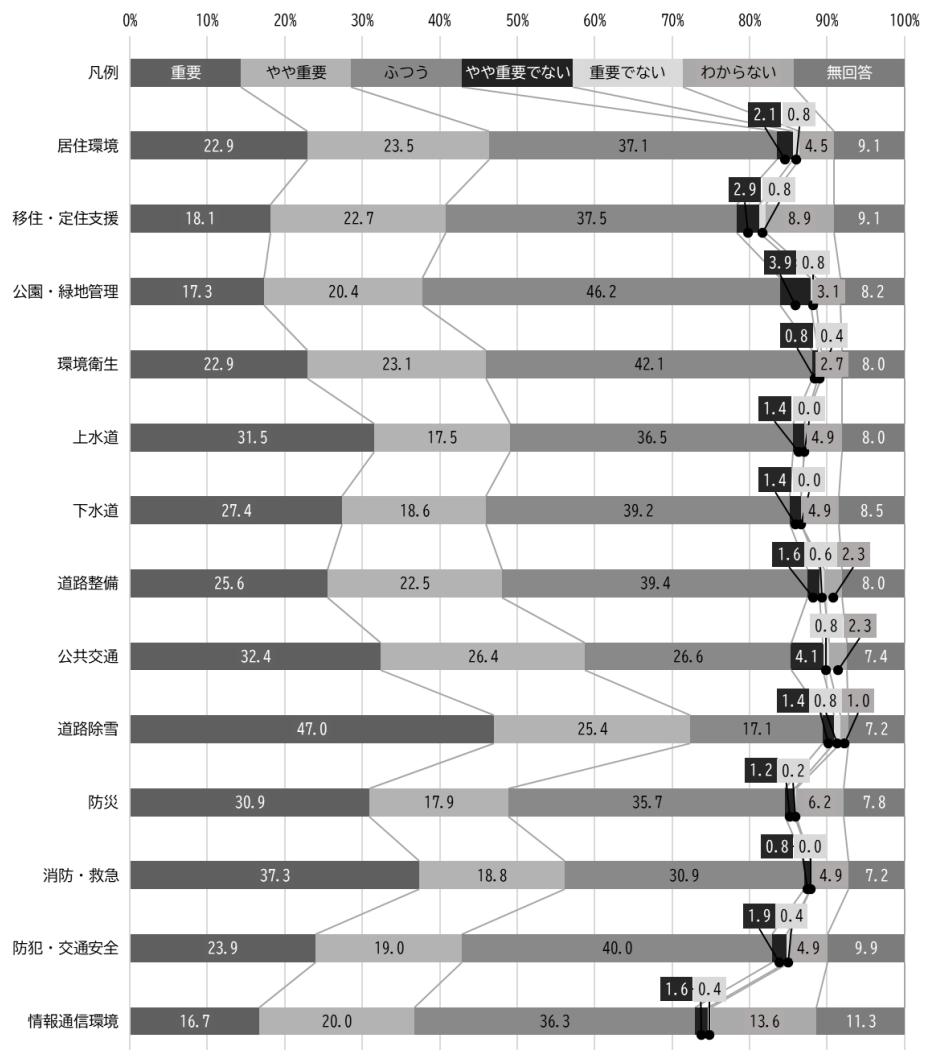
(2) 今後の重要度

赤平市の取組について今後の重要度について聞いた結果を 100 分率で示します。

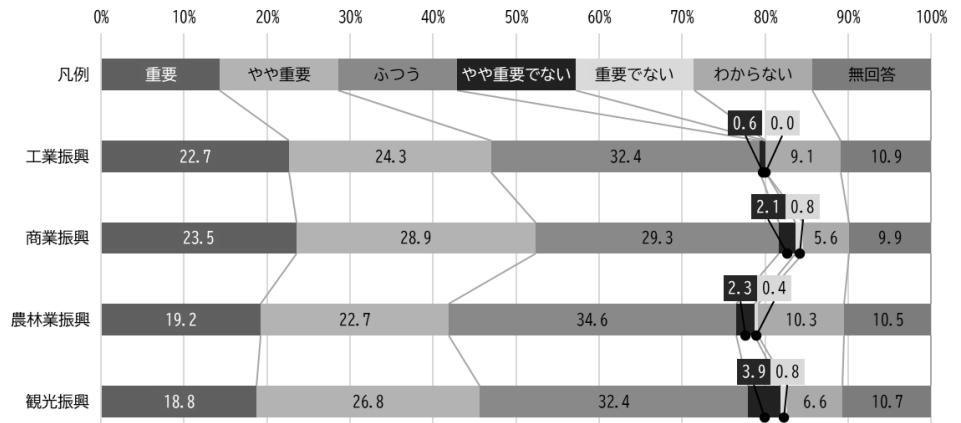
基本目標 1 健やかな暮らしをともに支え合うまち



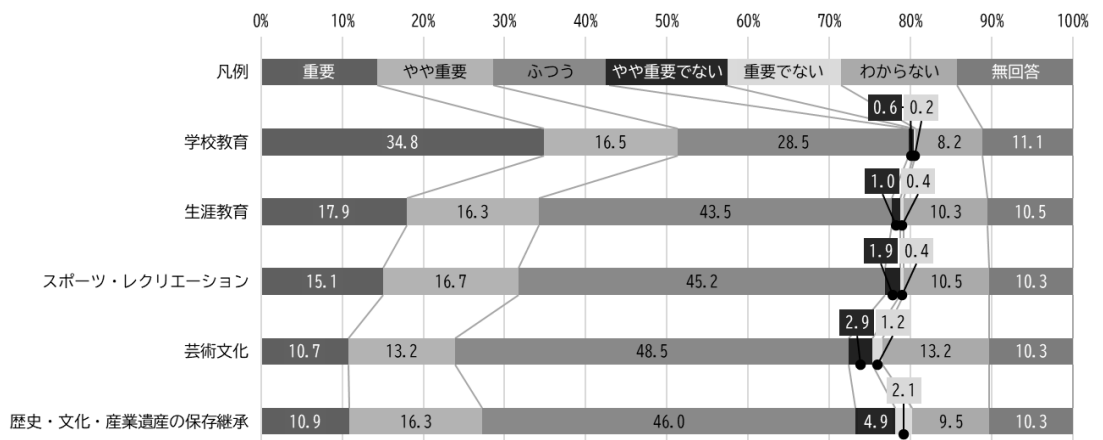
基本目標 2 安全・安心で快適に暮らせるまち



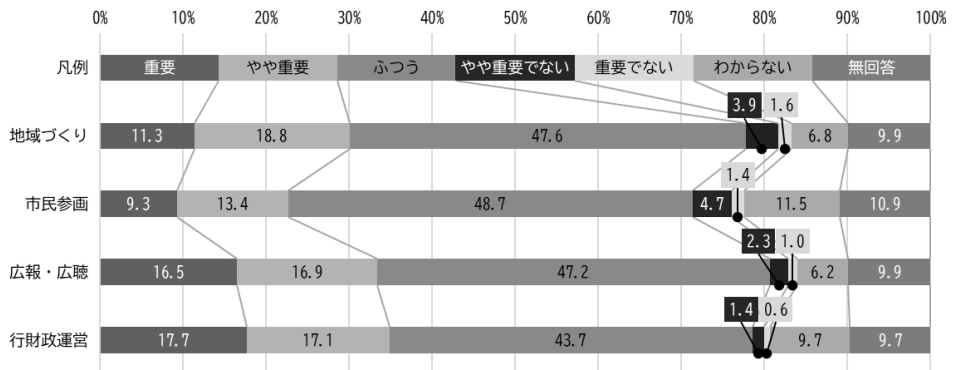
基本目標3 活力に満ちた魅力あふれるまち



基本目標4 とともに学び合い豊かな心を育むまち



基本目標5 ふれあいと交流で創る協働のまち



重要度が高い施策項目

- 各施策について、「重要」・「やや重要」と回答のあった上位10項目は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「道路除雪」の72.4%で、次いで「地域医療」(63.7%)、「公共交通」(58.8%)となりました。

(単位:%)

順位	重要度の高い10項目	重要 (E)	やや重要 (F)	重要の合計 (E)+(F)
1	道路除雪	47.0	25.4	72.4
2	地域医療	41.6	22.1	63.7
3	公共交通	32.4	26.4	58.8
4	高齢者支援	36.7	21.9	58.6
5	地域福祉	33.8	23.9	57.7
6	消防・救急	37.3	18.8	56.1
7	出産・子育て支援	39.0	15.9	54.8
8	健康づくり	30.1	22.3	52.4
9	商業振興	23.5	28.9	52.4
10	学校教育	34.8	16.5	51.3

過去調査との比較

順位	R1	R2	R3
1	地域医療	地域医療	道路除雪
2	道路除雪	道路除雪	地域医療
3	防災	消防・救急	消防・救急
4	公共交通	出産・子育て支援	地域福祉
5	消防・救急	高齢者支援	出産・子育て支援
6	高齢者支援	地域福祉	公共交通
7	上水道	公共交通	高齢者支援
8	防犯・交通安全	商業振興	防災
9	保健サービス提供	健康づくり	健康づくり
10	子育て支援	防災	学校教育

重要度が低い施策項目

- 各施策について、「あまり重要でない」・「重要でない」と回答のあった上位10項目（重要度下位10項目）は下表のとおりとなっています。
- 最も合計値の高かった施策は「歴史・文化・産業遺産の保存継承」の27.2%で、次いで「芸術・文化」(23.9%)、「市民参画」(6.2%)となりました。

(単位:%)

順位	重要度の低い10項目	あまり重要でない (G)	重要でない (H)	重要でない合計 (G)+(H)
1	歴史・文化・産業遺産の保存継承	16.3	10.9	27.2
2	芸術文化	13.2	10.7	23.9
3	市民参画	4.7	1.4	6.2
4	地域づくり	3.9	1.6	5.6
5	公共交通	4.1	0.8	4.9
6	公園・緑地管理	3.9	0.8	4.7
6	観光振興	3.9	0.8	4.7
8	移住・定住支援	2.9	0.8	3.7
9	健康づくり	2.7	0.6	3.3
10	広報・広聴	2.3	1.0	3.3

過去調査との比較

順位	R1	R2	R3
1	歴史・文化・産業遺産の保存継承	観光振興	歴史・文化・産業遺産の保存継承
2	芸術・文化	スポーツ・レクリエーション	芸術文化
3	スポーツ・レクリエーション	農林業振興	市民参画
4	農林業振興	芸術文化	観光振興
5	公園・緑地の管理	地域づくり	地域づくり
6	墓地・火葬場の整備	学校教育	商業振興
7	建設産業振興	行財政運営	農林業振興
8	地域福祉	生涯教育	公園・緑地の管理
9	土地利用	歴史・文化・産業遺産の保存継承	工業振興
10	商業振興	市民参画	スポーツ・レクリエーション

(3) 評価点による評価

評価点の計算方法について

各施策の満足度・重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、満足度及び重要度の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

●満足度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \quad \times \quad 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \quad \times \quad 5 \text{点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \quad \times \quad 0 \text{点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \quad \times \quad -5 \text{点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \quad \times \quad -10 \text{点} \end{array} \right) \div \text{無回答以外の回答者数}$$

●重要度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \quad \times \quad 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや重視である」の回答者数} \quad \times \quad 5 \text{点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \quad \times \quad 0 \text{点} \\ + \\ \text{「あまり重視でない」の回答者数} \quad \times \quad -5 \text{点} \\ + \\ \text{「重視ではない」の回答者数} \quad \times \quad -10 \text{点} \end{array} \right) \div \text{無回答以外の回答者数}$$

満足度の評価点

施策項目	全体	居住地区別						
		平岸地区	茂尻・百戸・エ ルム地区	住友地区(住 友・日の出)	赤平市街(泉町・ 錦町・本町・大 町・東大町)	豊里地区(昭和・ 桜木・宮下・豊 栄・幸・美園)	文京・豊丘・若 木・赤間・東豊 里・西豊里地区	住吉・共和・ 梶岡地区
健康づくり	0.98	1.25	0.82	1.03	1.07	0.92	1.07	0.48
地域医療	0.19	0.30	0.44	0.00	-0.60	-0.11	-0.17	-0.10
地域福祉	0.18	0.58	0.60	0.71	-0.13	0.12	0.53	-0.31
出産・子育て支援	0.51	0.70	0.29	0.83	0.36	0.67	0.61	0.56
高齢者支援	0.25	0.68	0.09	0.37	0.11	0.46	0.20	0.30
障がい者支援	0.42	0.57	0.31	0.12	0.76	0.66	0.31	0.25
居住環境	0.61	0.47	-1.14	-0.60	-1.00	0.35	-0.41	-1.09
移住・定住支援	0.39	0.20	0.90	0.37	0.50	-0.10	0.38	0.68
公園・緑地の管理	0.18	0.29	0.55	0.34	0.04	0.55	0.10	0.57
環境衛生	0.68	1.48	0.27	0.40	0.08	0.57	1.04	0.38
上水道	0.06	0.81	0.38	0.37	0.22	0.21	0.10	-0.91
下水道	0.05	0.47	0.09	0.50	0.13	0.27	0.04	-1.14
道路の整備	0.26	0.51	0.68	0.75	0.00	-0.17	0.08	0.42
公共交通	1.16	0.93	1.89	0.78	1.27	1.10	0.93	1.41
道路除雪	0.44	0.67	0.66	0.92	0.33	0.45	0.25	0.10
防災	0.23	0.38	0.13	0.00	0.52	0.19	0.16	0.22
消防・救急	0.89	1.28	0.98	1.34	0.88	0.57	0.85	1.04
防犯・交通安全	0.65	1.38	0.44	0.86	0.34	0.63	0.61	0.45
情報通信環境	-0.04	0.50	-0.19	0.50	0.05	0.28	-0.09	0.42
工業振興	0.30	0.00	0.83	0.40	0.27	0.36	0.04	0.76
商業振興	1.23	1.25	1.54	1.35	1.02	1.01	1.09	2.60
農林業振興	0.38	0.28	0.57	0.54	0.42	0.10	0.16	2.05
観光振興	0.60	0.45	0.71	0.74	0.30	0.56	0.53	1.80
学校教育	0.35	0.69	0.33	0.00	0.45	0.48	0.13	0.38
生涯教育	-0.07	0.47	0.45	0.26	0.00	0.20	0.27	0.24
スポーツ・レクリエーション	0.24	0.15	0.48	0.11	0.15	0.10	0.33	0.57
芸術文化	0.19	0.16	0.53	0.57	0.05	0.04	0.26	0.36
歴史・文化・産業遺産の保存継承	0.19	0.47	0.18	0.30	0.09	0.00	0.32	-0.11
地域づくり	0.05	0.49	-0.19	0.30	-0.18	0.16	0.28	0.83
市民参画	0.01	0.29	0.26	0.38	0.15	0.07	0.13	0.00
広報・広聴	0.34	0.72	0.17	0.45	0.13	0.52	0.41	0.10
行財政運営	-0.03	0.20	0.24	0.22	0.30	0.10	0.04	0.23

※数値が大きいほど満足度が高い。

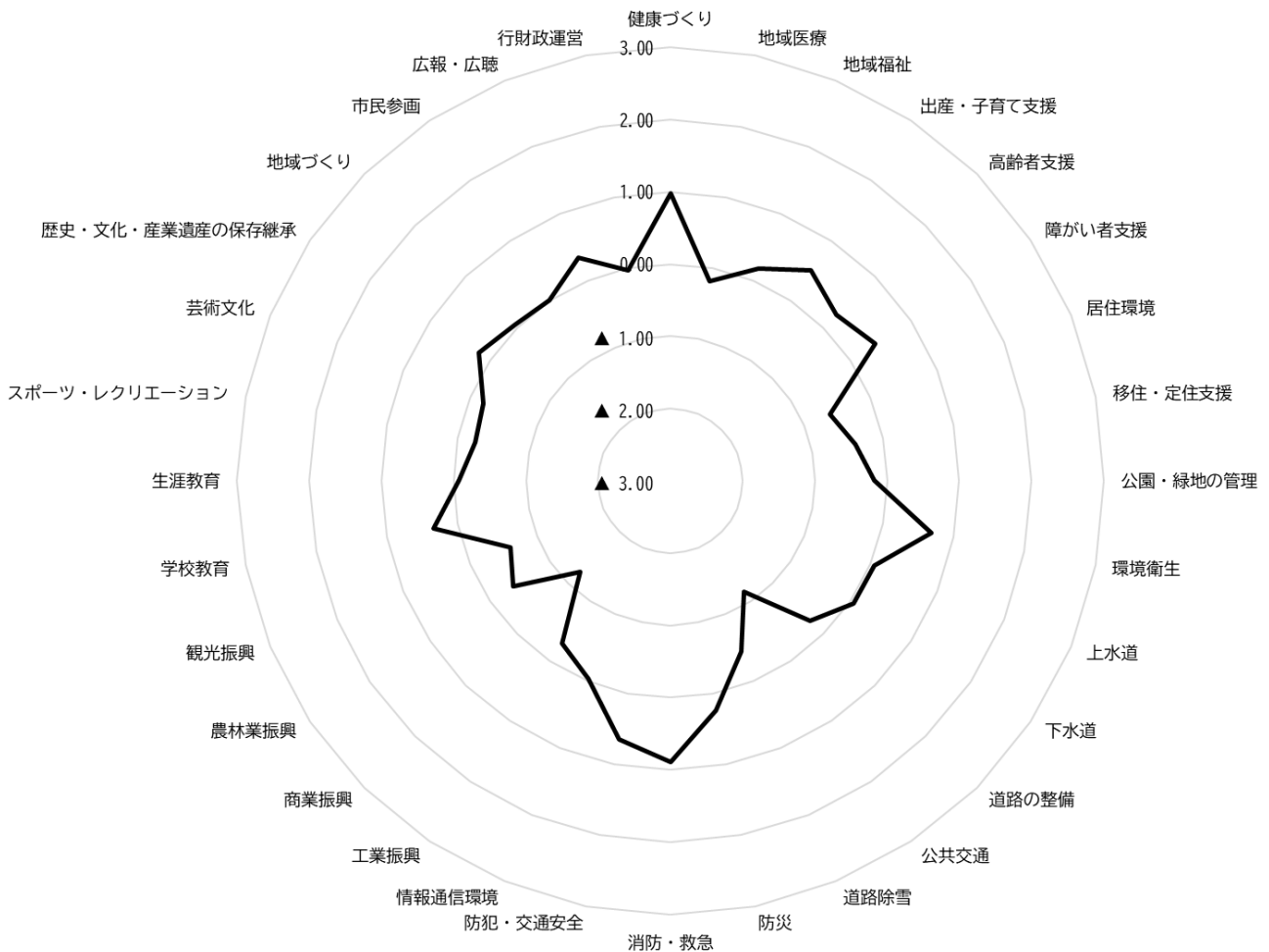
また、プラス値は満足の方が、マイナス値は不満の方がそれぞれ多い。

満足度評価／全体

順位	満足度評価上位5項目	評価点
1	健康づくり	0.98
2	消防・救急	0.89
3	環境衛生	0.68
4	防犯・交通安全	0.65
5	出産・子育て支援	0.51

順位	満足度評価下位5項目	評価点
1	商業振興	-1.23
2	公共交通	-1.16
3	居住環境	-0.61
4	観光振興	-0.60
5	道路除雪	-0.44

- 評価点による満足度においては、「健康づくり」が 0.98 で最も高く、次いで、「消防・救急」(0.89)、「環境衛生」(0.68)となっています。
- 一方、「商業振興」が-1.23 と最も低く、次いで「公共交通」が-1.16 となっています。



重要度の評価点

施策項目	全体	居住地区別							
		平岸地区	茂尻・百戸・エルム地区	住友地区(住友・日の出)	赤平市街(泉町・錦町・本町・大町・東大町)	豊里地区(昭和・桜木・宮下・豊栄・幸・美園)	文京・豊丘・若木・赤間・東豊里・西豊里地区	住吉・共和・幌岡地区	
健康づくり	2.23	2.20	2.20	2.33	1.90	2.18	2.32	2.60	
地域医療	2.91	2.82	3.35	2.50	2.75	2.59	2.98	3.20	
地域福祉	2.55	2.76	3.01	1.94	2.46	2.21	2.48	3.54	
出産・子育て支援	2.80	2.94	2.88	2.50	2.88	2.26	2.83	3.81	
高齢者支援	2.64	2.89	3.09	2.97	2.41	2.25	2.44	3.60	
障がい者支援	2.39	2.91	2.67	2.50	2.21	2.07	2.17	3.04	
居住環境	1.90	2.69	2.05	1.81	2.16	1.38	1.73	2.61	
移住・定住支援	1.66	2.00	1.47	1.72	2.37	1.02	1.65	1.96	
公園・緑地の管理	1.40	1.38	1.42	1.29	1.21	0.86	1.75	1.41	
環境衛生	1.88	2.44	1.88	1.42	1.75	1.48	1.90	2.61	
上水道	2.27	2.20	2.66	2.05	1.91	1.88	2.38	2.74	
下水道	2.08	2.20	2.62	1.76	1.79	1.69	2.06	2.26	
道路の整備	1.97	2.21	2.27	1.58	1.83	1.31	2.07	2.72	
公共交通	2.36	2.44	2.73	2.66	2.34	1.51	2.42	2.95	
道路除雪	3.17	3.49	3.36	3.61	2.97	2.74	3.16	3.23	
防災	2.27	2.56	2.42	2.41	2.12	1.73	2.39	2.17	
消防・救急	2.63	3.19	2.66	2.77	2.50	2.05	2.70	2.93	
防犯・交通安全	1.88	1.60	1.81	2.41	2.15	1.65	1.86	1.90	
情報通信環境	1.70	2.27	1.39	2.28	1.73	1.27	1.76	2.08	
工業振興	2.16	1.64	2.23	2.50	2.27	1.87	2.14	3.10	
商業振興	2.13	1.60	2.29	2.41	2.19	1.76	2.20	3.18	
農林業振興	1.83	1.74	1.68	1.60	1.99	1.20	2.04	3.45	
観光振興	1.78	1.15	1.62	1.07	2.19	1.37	2.05	2.93	
学校教育	2.64	2.65	2.46	2.72	2.63	2.30	2.90	2.38	
生涯教育	1.59	1.41	1.34	1.50	1.75	1.01	1.88	2.16	
スポーツ・レクリエーション	1.39	1.21	1.14	1.41	1.64	1.08	1.57	1.55	
芸術文化	0.96	0.61	0.74	0.65	1.37	0.52	1.14	1.43	
歴史・文化・産業遺産の保存継承	0.91	0.57	0.78	0.96	1.32	0.55	0.95	1.43	
地域づくり	1.03	1.01	0.78	0.77	0.96	0.87	1.20	1.63	
市民参画	0.78	0.81	0.66	0.53	0.68	0.40	0.98	1.63	
広報・広聴	1.36	1.32	1.53	0.76	1.29	1.14	1.45	1.85	
行財政運営	1.55	1.53	1.90	1.40	1.44	1.09	1.66	2.05	

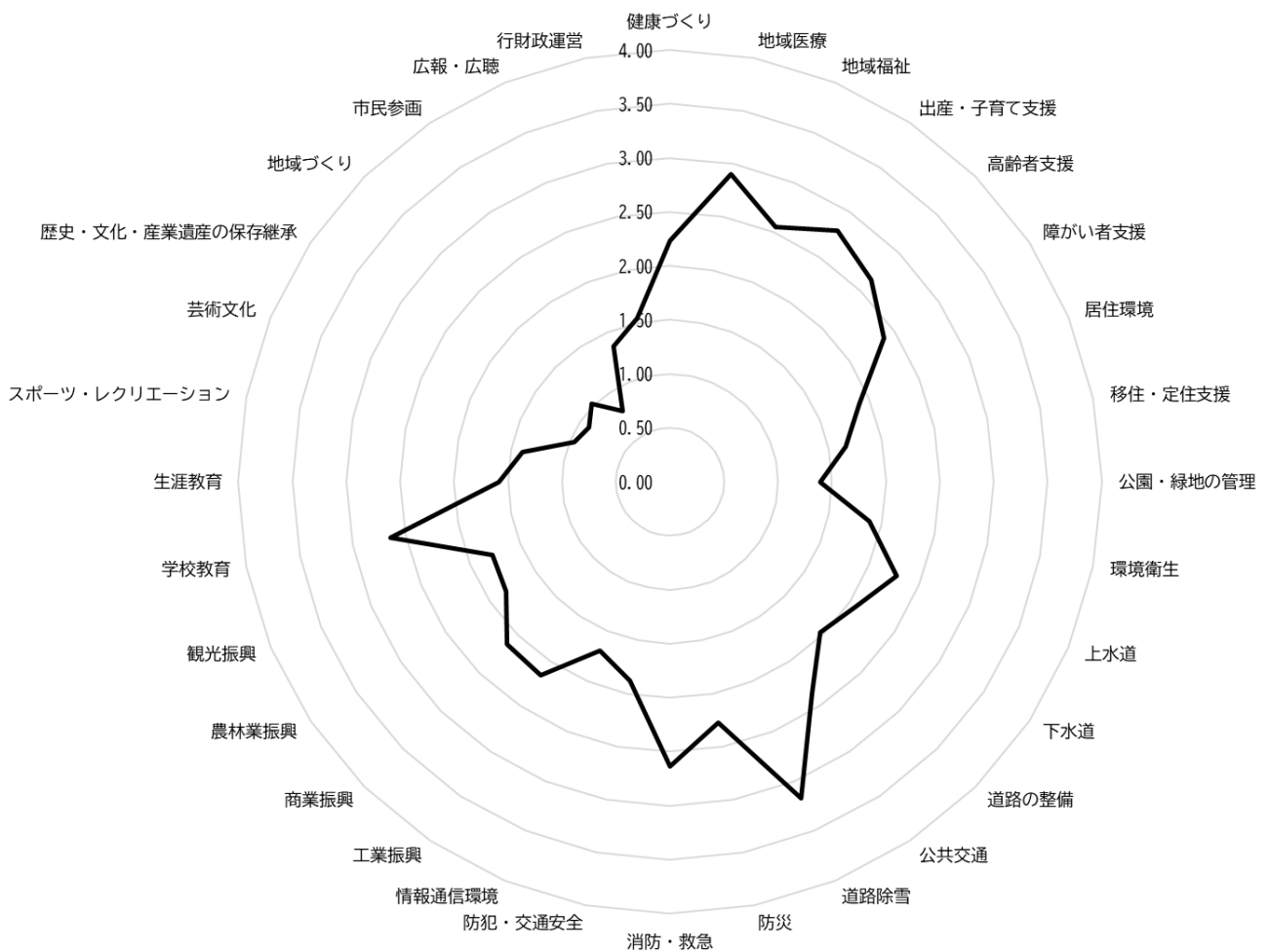
※数値が大きいほど重要度が高い。

重要度評価／全体

順位	重要度評価上位5項目	評価点
1	道路除雪	3.17
2	地域医療	2.91
3	出産・子育て支援	2.80
4	高齢者支援	2.64
5	学校教育	2.64

順位	重要度評価下位5項目	評価点
1	市民参画	0.78
2	歴史・文化・産業遺産の保存継承	0.91
3	芸術文化	0.96
4	地域づくり	1.03
5	広報・広聴	1.36

- 評価点による重要度においては、「道路除雪」が3.17と最も高く、次いで「地域医療」(2.91)、「出産・子育て支援」(2.80)となっています。
- 一方、「市民参画」は0.78で最も低く、次いで「歴史・文化・産業遺産の保存継承」(0.91)、「芸術文化」(0.96)となっています。



(4) 今後力を入れるべき項目

全体の満足度偏差値と重要度偏差値

施策項目	重要度 偏差値	満足度 偏差値	改善度	改善の 優先度
商業振興	52.84	26.00	5.05	1
公共交通	56.61	27.33	5.05	2
道路除雪	69.90	41.62	3.41	3
地域医療	65.55	46.61	1.70	4
居住環境	48.93	38.26	0.91	5
観光振興	46.94	38.39	0.76	6
高齢者支援	61.21	55.27	0.40	7
工業振興	53.24	44.42	0.37	8
地域福祉	59.74	53.83	0.35	9
出産・子育て支援	63.79	60.33	0.31	10
学校教育	61.19	57.16	0.29	11
農林業振興	47.81	42.75	0.27	12
移住・定住支援	44.99	42.48	0.16	13
道路の整備	50.15	45.19	0.16	14
上水道	55.16	51.47	0.12	15
下水道	51.90	51.24	0.01	16
防災	55.11	54.92	0.01	17
障がい者支援	56.99	58.54	-0.09	18
情報通信環境	45.62	49.45	-0.11	19
生涯教育	43.84	48.95	-0.22	20
行財政運営	43.16	49.63	-0.30	21
スポーツ・レクリエーション	40.62	45.48	-0.37	22
公園・緑地の管理	40.65	46.69	-0.44	23
消防・救急	61.10	67.99	-0.72	24
防犯・交通安全	48.69	63.17	-1.09	25
環境衛生	48.68	63.77	-1.17	26
広報・広聴	40.03	57.07	-1.35	27
健康づくり	54.43	69.78	-1.59	28
芸術文化	33.42	46.47	-1.75	29
地域づくり	34.58	51.29	-1.89	30
歴史・文化・産業遺産の保存継承	32.58	54.04	-2.76	31
市民参画	30.58	50.42	-2.97	32

過去調査との比較

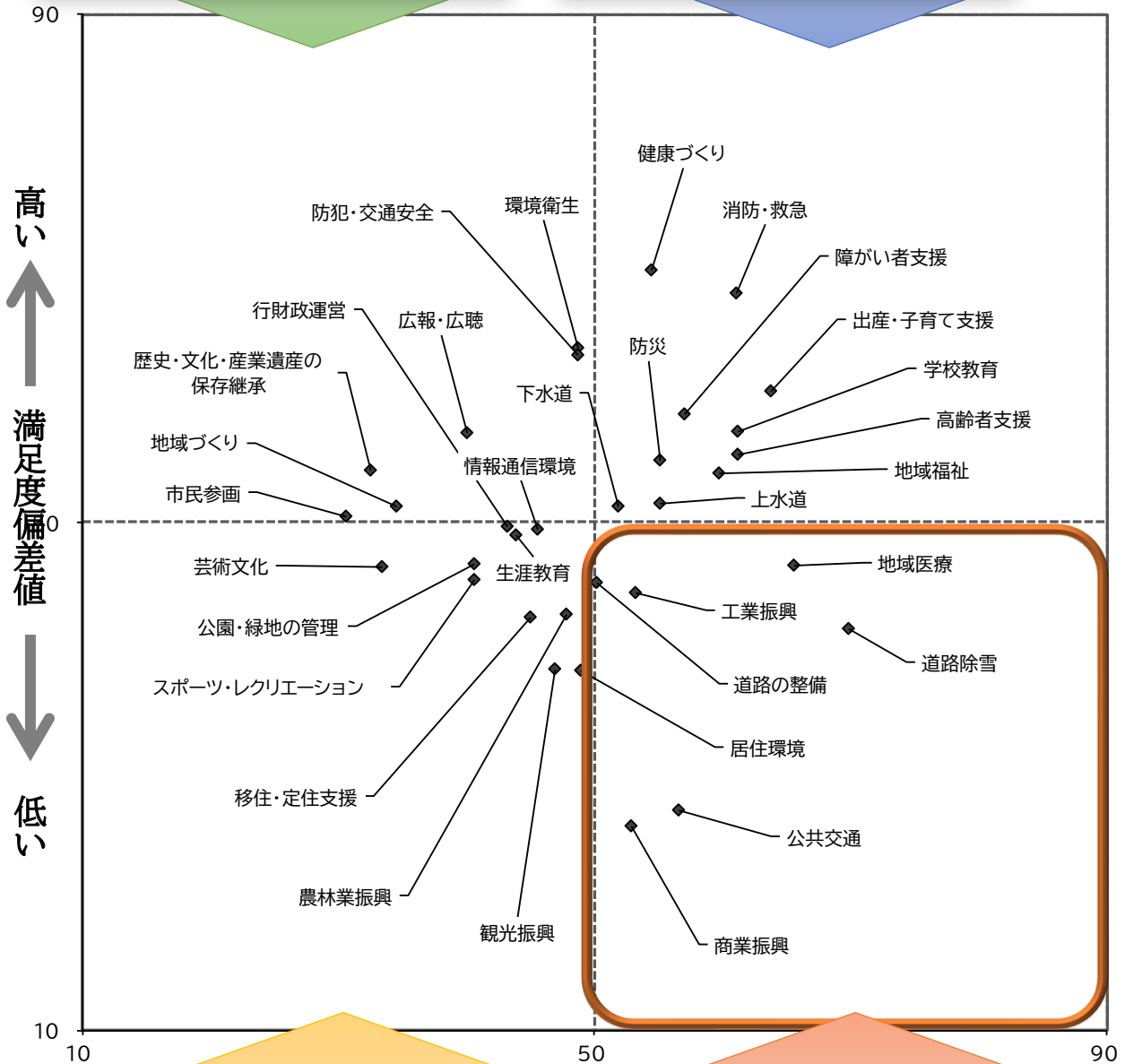
R1	改善の優先度	R2	改善の優先度	R3	改善の優先度
商業振興	1	商業振興	1	公共交通	1
地域医療	2	地域医療	2	商業振興	2
公共交通の確保	3	公共交通	3	地域医療	3
雪対策	4	居住環境	4	道路除雪	4
勤労者福祉	5	出産・子育て支援	5	観光振興	5
防災	6	学校教育	6	居住環境	6
観光振興	7	工業振興	7	学校教育	7
土地利用	8	観光振興	8	工業振興	8
工業振興	9	道路除雪	9	出産・子育て支援	9
高齢者支援	10	農林業振興	10	地域福祉	10
定住促進対策	11	高齢者支援	11	防災	11
学校教育	12	地域福祉	12	上水道	12
子育て支援	13	防災	13	農林業振興	13
農業振興	14	道路の整備	14	道路の整備	14
防犯	15	上水道	15	高齢者支援	15
道路の整備	16	障がい者支援	16	下水道	16
生涯学習	17	行財政運営	17	情報通信環境	17
上水道の整備	18	下水道	18	移住・定住支援	18
住宅施策	19	生涯教育	19	障がい者支援	19
公園・緑地・河畔の整備	20	情報通信環境	20	生涯教育	20
情報共有	21	スポーツ・レクリエーション	21	スポーツ・レクリエーション	21
情報通信	22	移住・定住支援	22	行財政運営	22
行財政運営	23	健康づくり	23	公園・緑地の管理	23
治山・治水	24	防犯・交通安全	24	消防・救急	24
障がい者支援	25	公園・緑地の管理	25	防犯・交通安全	25
消費者対策	26	消防・救急	26	環境衛生	26
保健サービス提供	27	地域づくり	27	健康づくり	27
スポーツ	28	環境衛生	28	地域づくり	28
地域福祉	29	芸術文化	29	広報・広聴	29
市民参画・協働	30	広報・広聴	30	芸術文化	30
下水道の整備	31	歴史・文化・産業遺産の保存継承	31	歴史・文化・産業遺産の保存継承	31
建設産業振興	32	市民参画	32	市民参画	32
消防・救急	33				
環境保全	34				
交通安全	35				
コミュニティ活動	36				
墓地・火葬場の整備	37				
林業振興	38				
男女共同参画	39				
人権尊重のまちづくり	40				
ごみ処理・リサイクル等	41				
文化・芸術	42				
し尿処理	43				
文化遺産の保存・活用	44				

満足度が高く、重要度が低い

重要度は低いが、現状の水準を維持すべき施策

満足度も重要度も高い

現状の水準を引き続き、重点的に維持すべき施策



満足度も重要度も低い

重要度は低いが、満足度の向上を意識して改善すべき施策

満足度が低く、重要度が高い

最優先で改善すべき施策

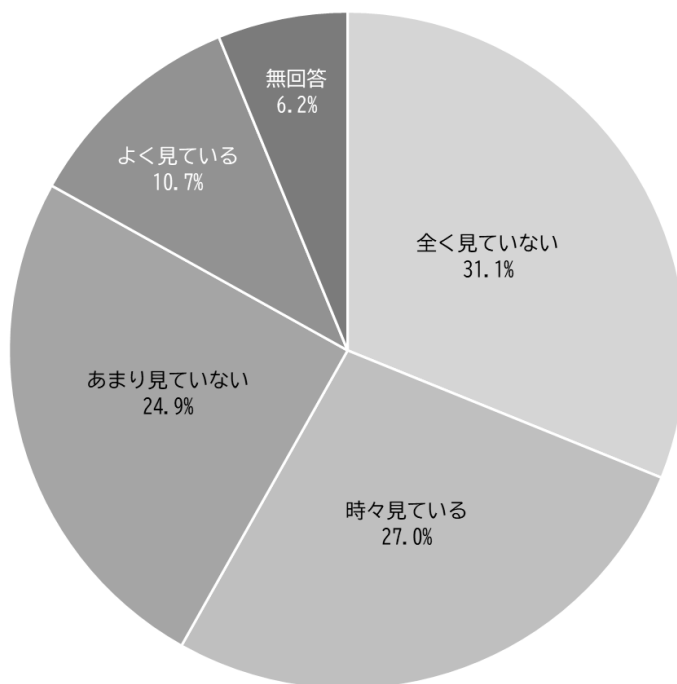
低い ← 重要度偏差値 → 高い

4. 市公式ホームページについて

(1)市公式ホームページの閲覧

① 閲覧頻度

閲覧頻度は「全く見ていない」が31.1%と最も多く、続いて「時々みている」が27.0%、「あまり見ていない」が24.9%で、「よく見ている」が最も少ない10.7%となっています。見ていない方の割合が56%という結果となりました。



閲覧頻度：男女別・年齢別

(単位：%)

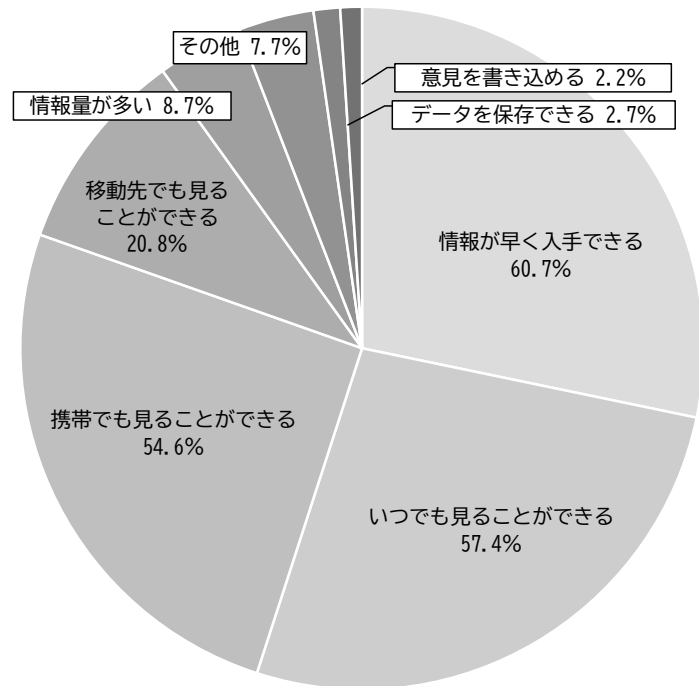
市HPの閲覧		n(単位:人)	よく見ている	時々見ている	あまり見ていない	全く見ていない	無回答
全体		485	10.7	27.0	24.9	31.1	6.2
性別	男	202	13.9	29.2	22.8	29.7	4.5
	女	219	9.6	27.4	27.9	29.7	5.5
年齢	18-29歳	43	7.0	34.9	23.3	34.9	0.0
	30-39歳	69	15.9	39.1	26.1	17.4	1.4
	40-49歳	76	18.4	30.3	31.6	17.1	2.6
	50-59歳	77	11.7	33.8	31.2	18.2	5.2
	60-69歳	115	8.7	25.2	20.9	38.3	7.0
	70歳以上	99	5.1	11.1	20.2	49.5	14.1

※網掛け部は回答者が一番多い項目

② 閲覧理由

見ている方のうち、「情報は早く入手できる」と回答した方が60.7%と最も多く、続いて「いつでも見ることができる」(57.4%)、「携帯でも見ることができる」(54.6%)、「移動先でも見ることができる」(20.8%)の順となっています。

※複数回答のため全体の合計が100%を超えています。



閲覧理由：男女別・年齢別

(単位：%)

見ている理由	n(単位:人)	情報が早く入手できる	情報量が多い	いつでも見ることができる	移動先でも見ることができる	携帯でも見ることができる	データを保存できる	意見を書き込める	その他
全体	183	60.7	8.7	57.4	20.8	54.6	2.7	2.2	7.7
性別	男	64.4	11.5	54.0	21.8	48.3	1.1	2.3	9.2
	女	58.0	6.2	59.3	18.5	60.5	3.7	0.0	7.4
年齢	18-29歳	50.0	11.1	44.4	22.2	61.1	0.0	0.0	11.1
	30-39歳	52.6	7.9	60.5	7.9	57.9	0.0	0.0	18.4
	40-49歳	62.2	5.4	64.9	29.7	70.3	0.0	0.0	5.4
	50-59歳	65.7	11.4	54.3	31.4	45.7	5.7	5.7	8.6
	60-69歳	61.5	5.1	53.8	17.9	51.3	5.1	2.6	0.0
	70歳以上	75.0	18.8	62.5	12.5	31.3	6.3	6.3	0.0

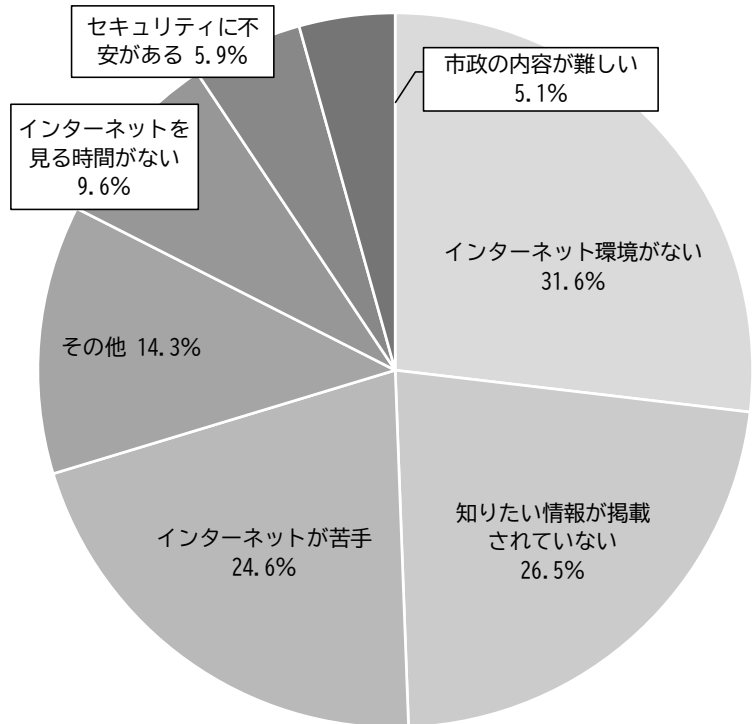
※網掛け部は回答者が一番多い項目

その他の閲覧理由（多寡問わず掲載）

- ごみ収集の確認
- コロナ関係やクマ情報を確認したいときだけ
- それ以外の情報を得る方法がわからない
- 仕事上必要なため
- 市の行事・イベント情報取得のため
- 市政の流れがわかる
- 情報を知りたいときに見ているが掲載されていないことが多い
- 知りたい情報を探すため

③ 見ない理由

市のホームページを利用しないと答えた方のうち最も多かった理由は、「インターネット環境がない」(31.6%)となりました。「知りたい情報が掲載されていない」(26.5%)や「インターネットが苦手」(24.6%)についても多い結果となりました。



見ない理由：男女別・年齢別

(単位：%)

見ない理由		n(単位:人)	インターネット環境がない	インターネットを見る時間がない	インターネットが苦手	セキュリティに不安がある	市政の内容が難しい	知りたい情報が掲載されていない	その他
全体		272	31.6	9.6	24.6	5.9	5.1	26.5	14.3
性別	男	106	27.4	9.4	27.4	4.7	4.7	30.2	17.9
	女	126	26.2	12.7	19.8	6.3	7.1	29.4	12.7
年齢	18-29歳	25	0.0	0.0	0.0	8.0	12.0	80.0	16.0
	30-39歳	30	0.0	13.3	0.0	6.7	6.7	43.3	43.3
	40-49歳	37	8.1	16.2	21.6	2.7	8.1	40.5	21.6
	50-59歳	38	7.9	21.1	21.1	0.0	7.9	21.1	21.1
	60-69歳	68	41.2	11.8	32.4	10.3	1.5	16.2	5.9
	70歳以上	69	73.9	0.0	40.6	5.8	2.9	2.9	2.9

※網掛け部は回答者が一番多い項目

その他の見ない理由（多寡問わず掲載）

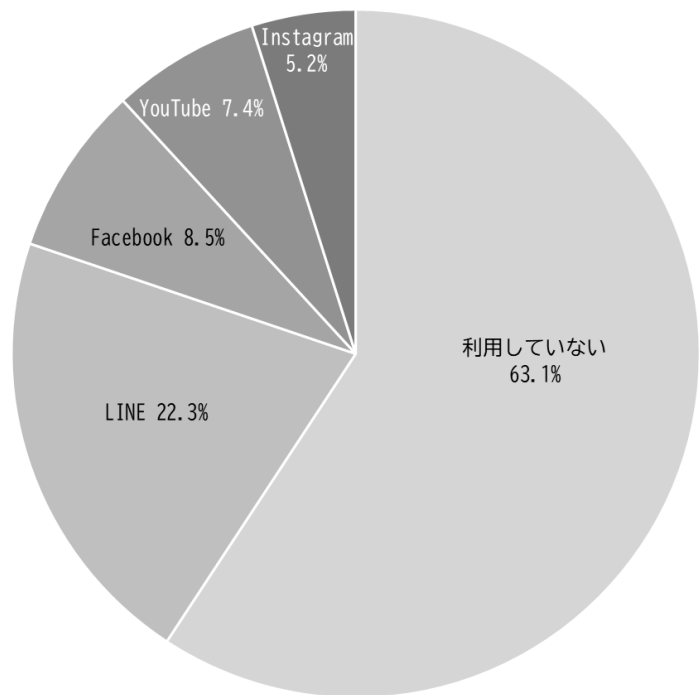
- あまり気にしていなかった
- あまり面白くない
- 興味がない・見たいと思わない
- 赤平市にあまり関心がない
- あることすらわからなかった
- パソコンがない
- ひまがない・めんどくさい
- 見る機会が無い
- 見る手段がわからない
- 広報で情報を得ており、必要なときのみ見ている

- 必要なとき以外見ることはない
- 必要なことがない
- 他市に比べてわかりにくい、探しにくい
- 知りたい情報のみ見る
- 知りたい情報の掲載が遅い
- 特に理由はない

(2)市公式 SNS

① 市公式 SNS の利用状況

「利用していない」と答えた方が63.1%で最も多く、利用している方の割合は「LINE」(22.3%)、「Facebook」(8.5%)、「YouTube」(7.4%)、「Instagram」(5.2%)の順になっており、少なくとも1つ利用している方は36.9%という結果となりました。(無回答含まず)



市公式 SNS の利用状況：男女別・年齢別

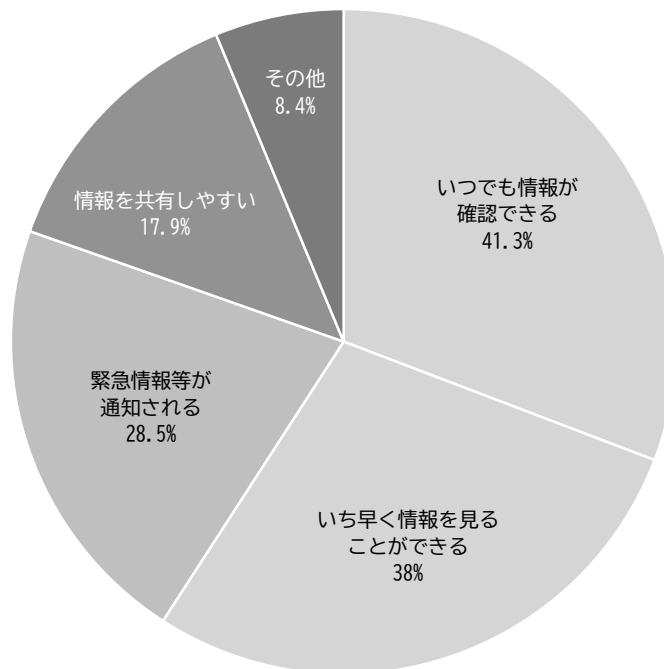
(単位：%)

公式SNS		n(単位:人)	LINE	Facebook	Instagram	YouTube	利用していない
全体		485	22.3	8.5	5.2	7.4	63.1
性別	男	202	24.3	9.4	5.4	10.4	60.4
	女	219	24.2	7.8	6.4	5.9	63.5
年齢	18-29歳	43	27.9	9.3	7.0	11.6	60.5
	30-39歳	69	34.8	20.3	15.9	11.6	50.7
	40-49歳	76	30.3	9.2	3.9	9.2	56.6
	50-59歳	77	20.8	9.1	3.9	7.8	63.6
	60-69歳	115	20.9	7.0	3.5	7.0	65.2
	70歳以上	99	7.1	1.0	1.0	2.0	75.8

※網掛け部は回答者が一番多い項目

② 市公式 SNS を利用する理由

市の公式 SNS を利用していると答えた方のうち、「いつでも情報が確認できる」と回答した方が最も多い 41.3%、続いて「いち早く情報を見ることができる」(38%)、「緊急情報等が通知される」(28.5%) という結果となりました。



市の公式 SNS を利用する理由：男女別・年齢別

(単位：%)

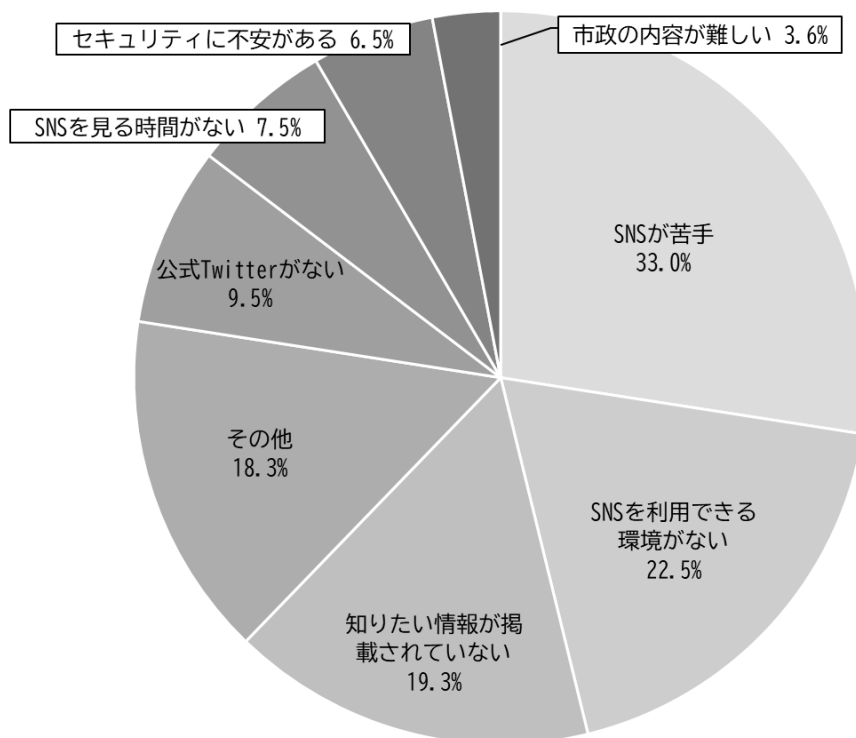
公式 SNS を利用する理由		n(単位:人)	いち早く情報を見ることができる	緊急情報等が通知される	いつでも情報が確認できる	情報を共有しやすい	その他
全体		179	38.0	28.5	41.3	17.9	8.4
性別	男	70	48.6	38.6	42.9	25.7	11.4
	女	69	42.0	33.3	52.2	15.9	10.1
年齢	18-29歳	17	35.3	41.2	29.4	17.6	23.5
	30-39歳	33	45.5	30.3	45.5	30.3	9.1
	40-49歳	33	48.5	36.4	54.5	24.2	9.1
	50-59歳	23	34.8	39.1	43.5	13.0	13.0
	60-69歳	32	56.3	31.3	59.4	15.6	6.3
	70歳以上	8	50.0	37.5	75.0	25.0	0.0

※網掛け部は回答者が一番多い項目

③ 市の公式 SNS を利用しない理由

市の公式 SNS を利用しない方のうち、一番多い理由は「SNS が苦手」で 33.0% となりました。

続いて「SNS を利用できる環境がない」(22.5%)、「知りたい情報が掲載されていない」(19.3%) が比較的多い理由となっています。



市の公式 SNS を利用しない理由：男女別・年齢別

(単位：%)

公式 SNS を利用しない理由	n(単位:人)	SNS を利用できる環境がない	SNS を見る時間がない	SNS が苦手	セキュリティに不安がある	市政の内容が難しい	知りたい情報が掲載されていない	公式 Twitter がない	その他	
全体	306	22.5	7.5	33.0	6.5	3.6	19.3	9.5	18.3	
性別	男	106	21.7	9.4	34.9	5.7	3.8	23.6	10.4	23.6
	女	126	23.8	8.7	35.7	11.1	4.8	22.2	9.5	19.0
年齢	18-29歳	25	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	60.0	12.0	44.0
	30-39歳	30	0.0	16.7	13.3	10.0	10.0	40.0	3.3	36.7
	40-49歳	37	5.4	10.8	37.8	2.7	8.1	35.1	8.1	32.4
	50-59歳	38	10.5	15.8	47.4	10.5	2.6	26.3	10.5	23.7
	60-69歳	68	30.9	11.8	48.5	11.8	2.9	5.9	11.8	11.8
	70歳以上	69	60.9	0.0	43.5	4.3	1.4	5.8	14.5	7.2

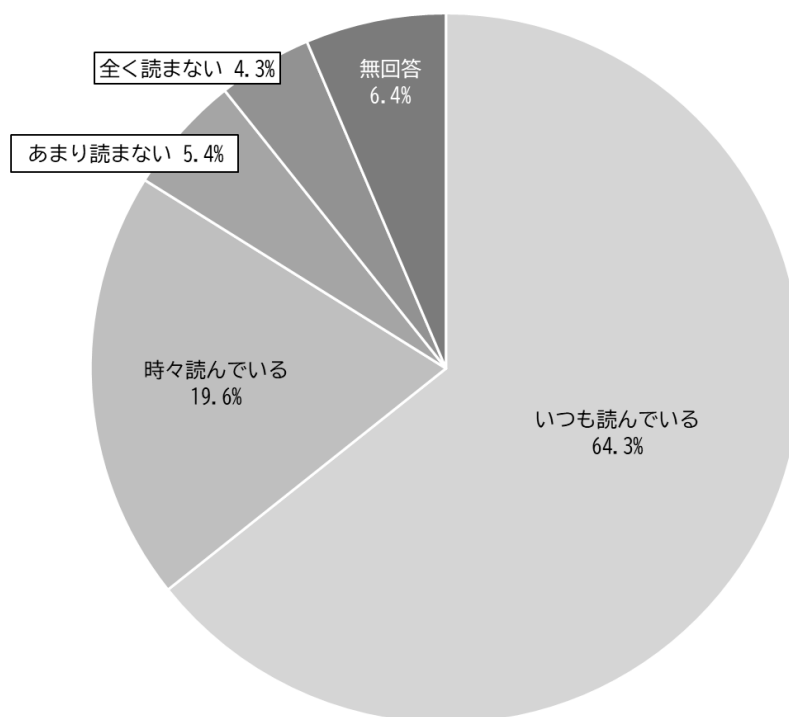
※網掛け部は回答者が一番多い項目

(3) 広報あかびらについて

① 「広報あかびら」を読む頻度

「広報あかびら」を「いつも読んでいる」と回答した方は64.3%、「時々読んでいる」の回答は19.6%で、83.9%の方が「広報あかびら」を読んでいることがわかりました。

一方、「あまり読まない」と「全く読まない」の合計は9.7%となり、およそ10人に1人が広報を読んでいるという結果になりました。



「広報あかびら」を読む頻度：男女別・年齢別

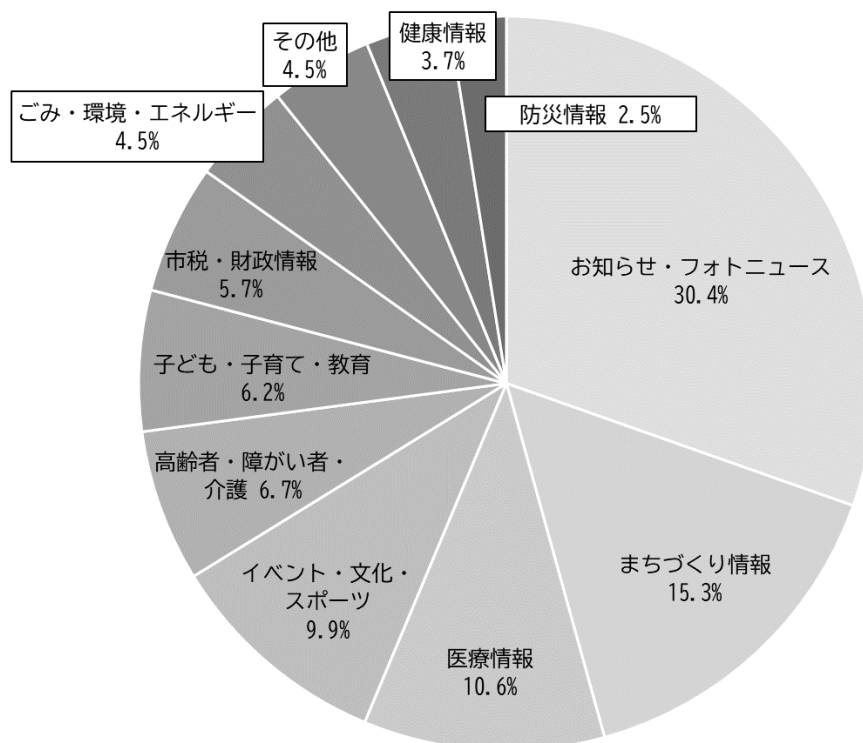
(単位：%)

広報あかびら		n(単位:人)	いつも読んでいる	時々読んでいる	あまり読まない	全く読まない	無回答
全体		485	64.3	19.6	5.4	4.3	6.4
性別	男	202	58.9	21.3	7.9	6.9	5.0
	女	219	68.0	19.2	4.1	2.7	5.9
年齢	18-29歳	43	20.9	37.2	16.3	20.9	0.0
	30-39歳	69	52.2	26.1	11.6	7.2	0.0
	40-49歳	76	61.8	26.3	5.3	2.6	0.0
	50-59歳	77	71.4	14.3	5.2	1.3	0.0
	60-69歳	115	70.4	15.7	1.7	3.5	0.0
	70歳以上	99	82.8	10.1	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は回答者が一番多い項目

②「広報あかびら」で重点的に取り上げてほしい内容

「広報あかびら」を読んでいると回答した方が、重点的に取り上げてほしい内容と答えたもので最も多かったのは、「お知らせ・フォトニュース」で30.4%でした。次いで、「まちづくり情報」(15.3%)、「医療情報」(10.6%)の順に多い回答結果となりました。



「広報あかびら」で重点的に取り上げてほしい内容：
男女別・年齢別

(単位：%)

広報で重点的に取り上げてほしい内容		n(単位:人)	お知らせ・フォトニュース	市税・財政情報	まちづくり情報	防災情報	医療情報
全体		407	30.4	5.7	15.3	2.5	10.6
性別	男	162	34.0	6.2	17.9	4.9	8.6
	女	191	26.7	4.7	13.1	1.0	11.5
年齢	18-29歳	25	20.0	4.0	20.0	0.0	0.0
	30-39歳	54	33.3	5.6	7.4	1.9	7.4
	40-49歳	67	29.9	4.5	14.9	1.5	11.9
	50-59歳	66	28.8	7.6	21.2	4.5	6.1
	60-69歳	99	32.3	4.0	19.2	2.0	15.2
	70歳以上	92	30.4	7.6	9.8	3.3	13.0

広報で重点的に取り上げてほしい内容		n(単位:人)	ごみ・環境・エネルギー	健康情報	子ども・子育て・教育	イベント・文化・スポーツ	その他
全体		407	4.5	3.7	6.2	9.9	4.5
性別	男	162	3.1	1.9	4.9	9.9	3.7
	女	191	4.7	4.7	8.4	11.5	5.2
年齢	18-29歳	25	0.0	4.0	20.0	16.0	12.0
	30-39歳	54	3.7	0.0	14.8	20.4	9.3
	40-49歳	67	1.5	0.0	13.4	13.4	3.0
	50-59歳	66	3.0	6.1	1.5	6.1	6.1
	60-69歳	99	5.1	5.1	2.0	7.1	3.0
	70歳以上	92	8.7	5.4	0.0	5.4	0.0

※網掛け部は回答者が一番多い項目

その他の広報で重点的に取り上げてほしい内容

➤ 市政・市について

- どんなまちづくりに力を入れているのか
- 市の考えがわかる記事
- 赤平市の未来像など
- 赤平市の歴史（炭鉱の歴史も含む）
- 申請すればもらえるお金・戻ってくるお金特集
- 市議の1ヶ月間の仕事内容（各議員）
- 市内での転居を考えているが、空き家情報が少ない
- 収入、高齢者、子育ての支援など市役所へ問い合わせなくてもわかる記事

➤ 求人関係

- 日雇いや内職、個人契約などの求人
- 正社員・パートの求人
- 障害者求人

➤ 医療関係

- 新型コロナウイルスの情報
- 医師の情報や各医師の診療予定日
- 健康に関する記事（日常生活で気をつけること、食事の面、その病気に関する情報）
- 最近の医療・福祉の制度の情報
- 難病についての特集

➤ 高齢者関係

- 若者にも理解できる高齢者が不便に感じていることの情報など
- ほかに高齢者の方がどう過ごしているか
- コロナで面会ができないので、施設内での様子や一日も早い面会（対面）に向けた対策など
- 赤平市は高齢者の方もバリバリ活躍しているので、表紙等で取り上げてもらいたい
- 年配者でもわかりやすい記事にしてほしい

➤ 子育て・教育関係

- 教育現場での日常の様子（学校行事以外）
- 子どもたちの活躍の記事（スポーツ・特技など）
- 子育てや、学校教育、子どものことについて、専門家のお話など
- 市が重点的に取り組んでいる教育内容について（ICT関係など）
- 他市町村にはない市独自の取り組みについてのPR（赤平市の公設塾、高校生への通学費助成、英検・漢検の助成、子どもの医療費）
※どれもあたりまえではないので、赤平独自の特別な助成だと多くの人に知らせると良い。
年間一人当たり何万円も違うと思う。
- 市内で活動している小中学生の部活動やクラブ活動の紹介や大会などの結果

➤ 市民インタビュー関係

- 若者の活動や考え方
- 市民から質問などを毎回募集して、返答してくれるコーナー
- あかびらの企業や個人で活躍する人についての記事
- 赤平で今何がおきているのか
- 市民の活動にスポットを当ててほしい
- 団体でも個人でも、何かに取り組んでいる人の紹介
- 市内の寺社仏閣の住職さんや神主さんにインタビュー（それぞれの謂れや歴史、ご本尊様やご神体の紹介など）
- 赤平の農家さんのPR記事

➤ イベント関係

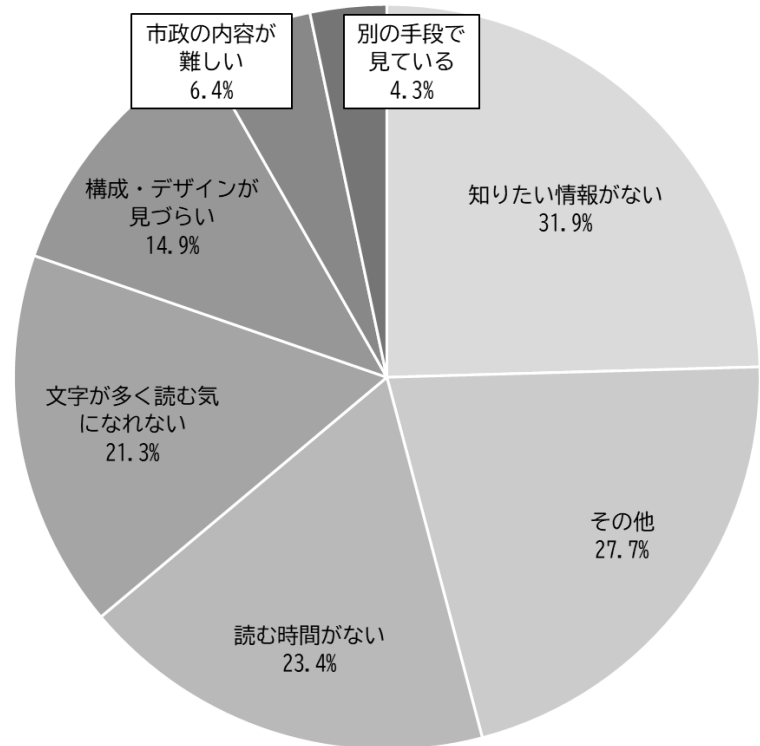
- イベント状況（予告）など読んでワクワクする内容
- クロスワードなど応募するとプレゼントがもらえる記事
- いつ、どこで、何をするのか前もってわかるような記事（早めに）
- 各町内会のイベント等の比較
- 子どもたちの笑顔あふれるイベント等の写真コーナーなど
- お祭りや集会などの記事（活気のあるまちの印象や、人とのつながりが防犯と住民連携につながるかもしれない）

➤ その他

- ウクライナ難民の受け入れについて
- ゴミの出し方や具体的なゴミ処理方法について
- 廃業した商店の情報など
- 赤平市以外の情報

③ 「広報あかびら」を読まない理由

広報あかびらを読まない理由で最も多かった回答は、「知りたい情報がない」の31.9%でした。次いで「その他」(27.7%)、「読む時間がない」(23.4%)、「文字が多く読む気になれない」(21.3%)という結果になりました。



「広報あかびら」を読まない理由：

男女別・年齢別

(単位：%)

広報を読まない理由	n(単位:人)	読む時間がない	知りたい情報がない	市政の内容が難しい	文字が多く読む気になれない	別の手段で見ている	構成・デザインが見づらい	その他	
全体	47	23.4	31.9	6.4	21.3	4.3	14.9	27.7	
性別	男	30	23.3	30.0	3.3	23.3	6.7	13.3	30.0
	女	15	20.0	33.3	13.3	20.0	0.0	20.0	20.0
年齢	18-29歳	16	31.3	31.3	6.3	25.0	6.3	18.8	18.8
	30-39歳	13	30.8	38.5	7.7	15.4	0.0	23.1	30.8
	40-49歳	6	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3
	50-59歳	5	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	60-69歳	6	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0
	70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は回答者が一番多い項目

その他の「広報あかびら」を読まない理由の内容

- レイアウト・デザインはとても綺麗だが、今の自分に関連する記事を見分けるのに苦勞して読まないことが多い
- 遠方にいるため読む機会がない
- 何を伝えたいのか不明
- 目が悪いため
- 全く関心がない